

令和5年度

事業報告書

<付属明細書>

社会福祉法人岩手県社会福祉協議会

目 次

1 県民の生活課題の解決	
(1) 生活課題を抱える住民の支援	1
(2) 住民の権利擁護と福祉サービスの利用支援	9
(3) 民生委員・児童委員の活動支援	12
(4) 東日本大震災からの復興支援と災害時対応体制の整備	14
2 住民の福祉活動の振興	
(1) ボランティア活動の振興と福祉教育の推進	17
(2) 情報発信機能の強化	19
3 福祉人材の養成と確保	
(1) 福祉人材の養成とスキルアップ支援	19
(2) 福祉人材の確保とマッチングの強化	21
(3) 退職共済制度の適正運営と福利厚生事業の充実	26
4 社会福祉事業経営の支援	
(1) 社会福祉事業経営の支援	28
(2) 適正なサービス評価の実施	30
5 多様な組織等との連携協働	
(1) 種別協議会・部会活動を通じた福祉サービス向上の取組と サービス利用者の福祉増進	30
(2) 多様な組織等との連携協働の推進	37
6 指定管理施設の管理運営	
(1) ふれあいランド岩手の管理運営	44
7 県社協の活動基盤の強化	
(1) 県社協財政基盤の適正化	46
(2) 組織強化のための取組の推進	46
8 会務の運営	
(1) 理事会の開催	46
(2) 評議員会の開催	47
(3) 監事等による監査の実施	47
9 岩手県社会福祉大会	48

1 県民の生活課題の解決

(1) 生活課題を抱える住民の支援

① 社協・生活支援活動強化方針推進事業 [地域福祉企画部]

ア 研究会の開催

(ア) 生活困窮者支援研究会

期日、会場、参加者：12月5日、矢巾町公民館、14社協21人

内容：取組紹介、シンポジウム、グループ討議

(イ) コミュニティソーシャルワーク研究会

※重層的支援体制の構築に向けた人材養成事業「地域づくり実践研修」に併催

<前期> 期日、会場、参加者：2月1日、オンライン、社協6人 2日、盛岡市内、社協8人

内容：講義、ディスカッション、グループワーク等

<後期> 期日、会場、参加者：2月5日、オンライン、社協7人 6日、盛岡市内、社協6人

内容：講義、取組発表、グループワーク等

イ いわて“おげんき”みまもりシステム管理運営事業

(ア) ICT技術を活用した安否確認システムの導入推進

[令和5年度見守りセンター設置社協等] 28市町村社協、36センター

盛岡市、宮古市(川井)、大船渡市、花巻市(本所・石鳥谷・東和・大迫)、北上市、久慈市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市(本所・浄法寺)、八幡平市、奥州市(江刺)、雫石町、岩手町、滝沢市、紫波町、矢巾町、西和賀町、平泉町、住田町、大槌町、山田町、軽米町、野田村、九戸村、洋野町(本所・大野)、一戸町、岩手県、ワラタネスクエア

(イ) システム登録者数

1,354人(うち実利用者数256人)

(ウ) システム運用定例会議の開催(システム開発企業イワテシガ株・県社協)

開催日：4月5日、7月12日、10月11日、1月10日

会場：ふれあいランド岩手

(エ) 重層的見守りにかかるICT活用研究会

※災害対応のため中止

ウ 成年後見制度と日常生活自立支援事業の一体的な取組の推進

成年後見中核機関設置基幹社協6社協を含む12社協で実施。

② 岩手県福祉コミュニティサポートセンター事業 [地域福祉企画部]

ア 地域福祉活動コーディネーター(CSW)の養成と支え合いマップ手法の習得支援

(ア) 地域福祉活動コーディネーター(CSW)養成研修会

<前期> 期日、会場、参加者：7月24日、25日、アイーナ、33人

内容：講義、事例発表、グループワーク、演習等

<後期> 期日、会場、参加者：9月4日、5日、花巻市総合福祉センター、30人(修了者)

内容：講義、グループワーク等

(イ) 地域づくり実践研修会

期日、会場、参加者：前期 2月1日、オンライン、30人 2日、盛岡市総合福祉センター、20人

内容：講義、ディスカッション、グループワーク等

後期 2月5日、オンライン、24人 6日、盛岡市総合福祉センター、12人

内容：講義、取組発表、グループワーク等

イ 研修修了者のフォローアップ及び地域支援マニュアルの整備

(ア) CSW 継続研修会

上記の「地域づくり実践研修会」を本研修会に位置付けた。

- (イ) 地域支援マニュアルの作成
「社会福祉関係資料集」の作成
- (ウ) CSW 修了者メーリングリストの普及・活用
CSW 活動に関連する各種情報をメールで情報提供（登録者 169 人）
- (エ) 支え合いマップ作成支援
一戸町社会福祉協議会（一戸町地域包括ケアシステム検討委員会）
実施日：6月27日、11月28日、1月23日、3月5日
支援内容：一戸町地域包括ケアシステム検討委員会「集いの場部会」オブザーバー

③ 市町村社会福祉協議会部会事業 [地域福祉企画部]

ア 研究会の開催（再掲）

- (ア) 生活困窮者支援研究会
期日、会場、参加者：12月5日、矢巾町公民館、14社協21人
内容：取組紹介、シンポジウム、グループ討議
- (イ) コミュニティソーシャルワーク研究会
※重層的支援体制の構築に向けた人材養成事業「地域づくり実践研修」に併催
＜前期＞ 期日、会場、参加者：2月1日、オンライン、社協6人 2日、盛岡市内、社協8人
内容：講義、ディスカッション、グループワーク等
＜後期＞ 期日、会場、参加者：2月5日、オンライン、社協7人 6日、盛岡市内、社協6人
内容：講義、取組発表、グループワーク等

イ 役職員研修会の開催

- (ア) 市町村社会福祉協議会新任職員研修
＜第1回＞期日、会場、参加者、内容：4月28日、ふれあいランド岩手、14社協34人、講義等
＜第2回＞期日、会場、参加者、内容：8月24日、奥州市社協、11社協19人、講義・見学
＜第3回＞期日、会場、参加者、内容：12月1日、紫波町内、10社協15人、講義・演習
- (イ) 中堅職員研修
期日、会場、参加者、内容：※申込者2名のため中止
- (ウ) 管理・指導職員研修
期日、会場、参加者、内容：1月22日～23日、アイーナ、12社協13人、講義等
- (エ) 中期経営計画策定推進セミナー
※災害対応のため中止
- (オ) 県内市町村社協災害対応初動チーム員研修会
期日、会場、参加者、内容：7月6日、矢巾町公民館、17社協20人、演習

ウ 中期経営計画策定アドバイザー派遣

県内12市町村社協で計画策定
西和賀町社協2回、大船渡市社協1回(ほかに資料提供1回)、八幡平市社協1回

エ 社会福祉法人との連携・協働の取組推進

- (ア) 連絡会の設置など、県内15市町村社協での取組実施
- (イ) 地域福祉推進トップセミナー
期日、会場、参加者：2月8日、ホテルニューカーリーナ、43人（15社協23人、13法人20人）
内容：基調講演、グループ討議

オ 市町村社協組織運営、事業推進支援

- (ア) 岩手県保健福祉部と市町村社会福祉協議会部会との懇談会
期日、会場、参加者：12月19日、岩手県公会堂、県9人、社協部会17人

内容：市町村社会福祉協議会の取組に係る要望（5項目）

(イ) 市町村社会福祉協議会会長懇談会

期日、会場、参加者：8月3日、ホテルメトロポリタン盛岡、26社協38人

内容：基調講演、グループ懇談

(ウ) 事務局長・地域福祉担当課長会議

期日、会場、参加者：7月21日、ふれあいランド岩手、26社協41人

内容：説明、実践報告、グループディスカッション

(エ) 社協部会中期活動計画2024-2028の策定

(オ) 市町村社協経営研究会

※災害対応のため中止

(カ) 社協の概要、役職員名簿の作成

社協の概要：12月配布 役職員名簿：9月配布

(キ) 市町村社協福祉サービス実施状況調査

3月配布

カ 助成事業

(ア) 地域福祉活動先進地視察研修参加に係る助成 20人×@20,000円

(イ) 全国社会福祉協議会等が主催する研修会、会議、セミナーへの参加費助成

助成額：216,736円（5社協）

キ 災害対応

(ア) 令和5年7月豪雨災害

秋田市社協ボランティアセンター 2人×5クール（県社協、市町村社協）

(イ) 令和5年台風13号災害

いわき市社協ボランティアセンター 2人×1クール（県社協、市町村社協）

(ウ) 令和6年能登半島地震（令和6年1～3月 ※4月以降も継続）

・ 志賀町社協災害ボランティアセンター 2人×4クール（県社協、市町村社協）

・ 岩手県災害派遣福祉チーム2回（県社協）

ク 会務運営

(ア) 総会 <期日、会場> 3月22日、ふれあいランド岩手

(イ) 理事会 <期日、会場> 5月12日、7月10日、10月30日、3月8日、ふれあいランド岩手

(ウ) 正副会長会議 <期日、会場> 10月10日

(エ) 幹事会 <期日、会場> 4月24日、9月19日、2月26日、ふれあいランド岩手

(オ) 監査 <期日、会場> 5月12日、ふれあいランド岩手

④ 生活福祉資金貸付事業 [地域福祉企画部]

ア 貸付実績等

市町村社協及び自立相談支援機関等と連携し、低所得者、障がい者又は高齢者世帯に対し、経済的自立や生活意欲の助長等を図るため、資金の貸付と必要な相談支援を行った。

令和5年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け減収した方への特例貸付の対応のため申請や相談が多い状況が継続し、市町村社協の協力を得て対応を行った。

○ 本則（コロナ特例貸付を除く分）の対応

(ア) 総合支援資金

(a) 貸付実績

年度末の貸付中件数967件、貸付中金額424,223千円（うち最終償還期限後債権数443件）

【令和5年度の申請及び貸付決定状況】

区 分	申 請	決 定
件 数	16 件	14 件
金 額	4,502 千円	3,617 千円

【貸付決定資金種内訳】

資金種	件 数	金 額
生活支援費	12 件	3,146 千円
住宅入居費	0 件	0 千円
一時生活再建費	2 件	471 千円
合 計	14 件	3,617 千円

(b) 償還実績

償還金は 17,079 千円、償還完了件数 38 件

(イ) 福祉資金

(a) 貸付実績

年度末の貸付中件数 2,449 件、貸付中金額 574,843 千円（うち最終償還期限後債権数 1,573 件）

【令和5年度の申請及び貸付決定状況】

区 分	申 請	決 定
件 数	235 件	222 件
金 額	35,992 千円	33,127 千円

【貸付決定資金種内訳】

資金種	件 数	金 額
福祉資金	70 件	21,056 千円
緊急小口資金	152 件	12,071 千円
生活復興支援資金	-	-
合 計	222 件	33,127 千円

(b) 償還実績

償還金 63,549 千円、償還完了件数 259 件

(ウ) 教育支援資金

(a) 貸付実績

年度末の貸付中件数 7,454 件、貸付中金額 4,888,552 千円（うち最終償還期限後債権数 461 件）

【令和5年度の申請及び貸付決定状況】

区 分	申 請	決 定
件 数	279 件	264 件
金 額	212,162 千円	199,597 千円

【貸付決定資金種内訳】

資金種	件 数	金 額
教育支援費	147 件	153,983 千円
就学支度費	117 件	45,614 千円
合 計	264 件	199,597 千円

(b) 償還実績

償還金 320,101 千円、償還完了件数 232 件

(エ) 不動産担保型生活資金

令和5年度の貸付決定は要保護世帯向け不動産担保型生活資金のみで、2件の申請に対し1件を決定（貸付限度額18,340千円）を決定。貸付中債権の状況は次のとおり。

資金種	貸付中件数	貸付限度額の合計
一般	4件	54,677千円
要保護世帯向け	47件	245,336千円
合計	51件	300,013千円

(オ) 離職者支援資金貸付事業(平成12年度創設/平成21年9月廃止)

年度末の貸付中件数18件、貸付中金額10,187千円（うち最終償還期限後債権数18件）。償還実績は303千円の償還があり、償還完了は1件。

(カ) 臨時特例つなぎ資金貸付事業(平成21年度創設)

(a) 貸付実績

年度末の貸付中件数6件、貸付中金額312千円（うち最終償還期限後債権数6件）

【令和5年度の申請及び貸付決定状況】

区分	申請	決定
件数	1件	1件
金額	100千円	100千円

(b) 償還実績

償還金166千円、償還完了件数2件

○ コロナ特例貸付分（緊急小口資金、総合支援資金）の対応

(ア) 貸付中債権の状況

年度末の貸付中件数及び金額は下表のとおり。

償還実績は緊急小口資金が158,719千円、総合支援資金34,483千円。償還完了は1,107件（緊急小口資金538件、総合支援資金569件）

【令和5年度末における未償還金残高（据置期間中の貸付も含む）】

資金種	貸付中件数	貸付中金額
緊急小口資金	3,615件	463,751千円
総合支援資金	2,966件	1,429,801千円
合計	6,581件	1,893,553千円

(イ) 償還免除の状況

コロナ特例貸付の対応では、国の示す償還免除要件に該当する場合には償還免除できる取扱いとなっている。令和5年度においては、住民税非課税の償還免除の案内及びその他の償還免除要件（生活保護受給、障害要件、死亡等）を借受人へ周知し、申請受付及び償還免除の決定処理を行った。

【コロナ特例貸付償還免除決定状況】（令和6年3月末時点）

資金種	令和5年度		参考（累計）	
	件数	金額	件数	金額
緊急小口資金	571件	88,559千円	2,763件	482,252千円
総合支援資金	601件	300,145千円	1,757件	881,496千円
合計	1,172件	388,704千円	4,520件	1,363,748千円

(ウ) 借受人へのフォローアップ支援

償還免除の要件に該当しない借受人は令和5年1月から順次償還開始となっている。

コロナ禍の継続や物価高騰等、厳しい社会・経済状況が続く中、市町村社会福祉協議会や自立相談支援機関等と連携し、生活に困窮する借受人世帯への架電や訪問等を行うとともに、相談支援等による生活の立て直しや再建に向けた償還猶予や少額返済等のフォローアップを行った。

【償還猶予・少額返済の決定状況】

資金種	償還猶予	少額返済
緊急小口資金	174件	52件
総合支援資金	111件	17件
合計	285件	69件

イ その他事業運営

(ア) 生活福祉資金貸付事業担当職員研修会

a 新任者研修

期日、会場、参加者：5月12日、ふれあいランド岩手、19人

内容：制度説明及び相談支援の知識・技術向上を目的とする実践発表等

b 現任者研修（事務説明会）

期日、会場、参加者：5月25日、26日、ふれあいランド岩手、46人

内容：特例貸付の状況及び特例貸付借受人へのフォローアップ支援に係る説明、生活困窮者支援に係る実践発表等

c 現任者研修（事務説明会）

期日、会場、参加者：12月7日、8日、アイーナ、47人

内容：特例貸付の状況及び特例貸付借受人へのフォローアップ支援の説明及び実践発表、岩手弁護士会における生活困窮者支援の取組説明、情報交換等

(イ) 償還指導の実施

28市町村社協で実施（延べ36日）

(ウ) 生活福祉資金相談員の配置（市町村社協）

27市町村社協

(エ) 生活福祉資金貸付審査等運営委員会の開催

本委員会1回（9月25日）

(オ) 県民への広報活動

本会のホームページや広報紙で制度周知を行ったほか、各市町村社協において住民への周知を行った。また、全体版パンフレット・教育支援資金リーフレットを作成し、関係機関、関係団体へ配付した。教育支援資金リーフレットは、中学校、高等学校、大学、専門学校等教育機関へも配布した。

⑤ 福祉人材確保等貸付事業 [\[福祉経営支援部\]](#)

ア 介護福祉士修学資金等貸付事業 [\(20ページ参照\)](#)

イ 保育士修学資金貸付等事業 [\(21ページ参照\)](#)

ウ ひとり親家庭高等職業訓練促進支援資金貸付事業

ひとり親家庭の自立の促進を図るため、高等職業訓練促進給付金を活用して養成機関に在学し、就職に有利な資格の取得を目指すひとり親家庭の親へ訓練資金を貸し付け、資格取得を促進するとともに、自立に向けて意欲的なひとり親家庭の親へ住宅支援資金の貸付けを実施。

(ア) 新規貸付決定状況

種 類	令和5年度	
	貸付数	貸付金額
入学準備金	4人	2,000千円
就職準備金	6人	1,151千円
住宅支援資金	0人	—
計	10人	3,151千円

(イ) 貸付状況 (令和6年3月現在)

猶予中	貸付中	免除者	返還中	返還済	計
30件	14件	6件	0件	2件	52件

※ 同一の借受人が別種の貸付を併用可能なため、借受人の重複あり

エ 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業

児童養護施設等入所中又は里親等へ委託中の者及び児童養護施設等を退所した者又は里親等への委託が解除された者に対する貸付けを実施。主な内容は、大学等に在学する者に対する生活支援費の貸付け、就職者に対する生活支援費及び家賃支援費の貸付け、就職に向けて資格の取得を希望する者に対する資格取得支援費の貸付けの実施。

(ア) 新規貸付決定状況

種 類	令和5年度		
	貸付件数	貸付金額	実人数
生活支援費	3件	3,600千円	家賃+生活+資格1人、
家賃支援費	6件	4,200千円	家賃+生活3人、家賃のみ3人、
資格取得支援費	4件	974千円	資格のみ3人
計	13件	8,774千円	10人

(イ) 貸付状況 (令和6年3月現在)

猶予中	貸付中	免除者	返還中	返還済	計
32人	18人	4人	4人	1人	59件

※ 同一の借受人が別種の貸付を併用可能なため、借受人の重複あり

⑥ IWATEあんしんサポート事業 [福祉経営支援部]

ア 組織の状況

参画法人：89法人

あんしんサポート相談員：313人

イ 活動状況

- (ア) 生活困窮世帯等への支援 137件 3,832,005円
(イ) 中間的就労の場「就労準備ボランティア」の実施 2法人、体験者数 2人
(ウ) 子どもの居場所「フリースペース」の実施 1法人、利用者数 70人

ウ 研修の実施

(ア) あんしんサポート相談員養成研修

<第1回> 期日、会場、参加者：6月28日、岩手県水産会館、19人

<第2回> 期日、会場、参加者：1月12日、マリオス、23人

(イ) 生活困窮者支援研修会

期日、会場、参加者：1月15日、岩手県水産会館、32人

エ 市町村社協等関係機関とのネットワーク会議 (情報交換会)

沿岸ブロック：11月2日、 、20人

県南ブロック：10月6日、 、20人

オ 会務の運営

(ア) IWATE・あんしんサポート事業運営委員会

未開催

(イ) IWATE・あんしんサポート事業連絡会議（県保健福祉部四課との情報交換）

期日、会場、参加者：5月24日、岩手県水産会館、9人

⑦ 盛岡圏域生活困窮者自立相談支援事業 [地域福祉企画部]

ア 相談件数等

新規相談 157件

自立プラン作成 52件

家計再生プラン作成 13件

就労・増収率 100%

食料支援 98件

イ 支援調整会議の開催

会場：県央5町（雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町）の社協、町役場会議室等

内容：自立支援プランの適切性及び終結評価等の協議

出席者：盛岡広域振興局保健福祉環境部保護課、各町生活保護担当課、町社協、地域包括支援センター、障害者地域生活支援センター、ハローワーク、社会福祉法人、弁護士、県社協等（ケースに応じて随時関係機関の参集範囲を変更）

期日：雫石町 8月28日

葛巻町 1月（書面開催）

岩手町 4月19日、6月16日、7月24日、9月8日、10月24日、1月24日、2月27日

紫波町 4月17日、5月15日、6月19日、7月18日、8月21日、9月19日、10月16日、11月20日、12月18日、1月15日、2月19日、3月18日

矢巾町 4月15日、5月9日、6月6日、7月4日、8月8日、9月5日、10月3日、11月7日、12月5日、1月16日、2月6日、3月5日

⑧ ひとり親家庭等総合支援事業 [地域福祉企画部]

ア 岩手県ひとり親家庭等サポートネットワーク会議の開催

地域におけるひとり親家庭等を支える仕組みづくりを推進するネットワークを構築するため、関係団体等の代表者によるネットワーク会議を開催した。また、本会議構成団体によるメーリングリストを作成し、ひとり親支援に関連する情報共有体制を構築した。

第1回

期日、会場：6月13日、都南公民館

内容：令和4年度ひとり親家庭等総合相談支援事業実績報告、令和5年度ひとり親家庭等総合相談支援事業計画、子どもの貧困生活実態アンケート調査、情報交換

第2回

期日、会場：3月19日、ふれあいランド岩手

内容：ひとり親家庭等応援サポートセンター相談実績等、地域における連携体制の構築、支援者向け研修について、サポートセンター継続ケースについて、情報交換

イ 地域における連携体制の構築支援

広域振興局保健福祉環境部等（9圏域）において設置する「ひとり親家庭等サポート地域ネットワーク会議」の運営支援及び会議への出席を行った。

期日、圏域：7月21日（二戸）、7月31日（一関）、9月22日（釜石）、10月6日（宮古）、

11月28日（大船渡）、1月17日（盛岡）、2月26日（胆江）、2月29日（中部）

3月1日（久慈）

ウ 支援者研修の実施

地域でひとり親家庭等の支援に携わる支援者の対応力向上のため、次のとおり研修を実施した。

(ア) 民生委員・児童委員対象

内容「ひとり親家庭支援の現状」

圏域：10月26日（県央地区）、1月23日（釜石地区）

(イ) 支援者対象

期日、会場：12月27日（盛岡会場）※盛岡地域ネットワーク会議共催

1月10日（県南会場）※一関・平泉地域ネットワーク会議共催

1月12日（沿岸会場）※釜石圏域ネットワーク会議共催

2月1日（県北会場）※二戸地域ネットワーク会議共催

内容：「ひとり親家庭への家計・生活支援～FPの視点から～」

エ ひとり親家庭等に関する相談支援及び相談対応

(ア) ひとり親家庭等やその支援者を支援するため、ひとり親家庭等に関する相談支援及び相談対応を次のとおり行った。

相談対応件数：105件、（うち新規相談件数43件）、（延べ件数452件）

(イ) ひとり親家庭等支援施策ガイドブックを用いた情報発信

ホームページの情報を更新、公式LINEの開設

オ 家計相談・生活支援個別相談

ひとり親家庭等の家計管理に関する課題解決のため、ファイナンシャルプランナー等の資格を有する者による個別相談を行った。

相談実績：8回（6人）

(2) 住民の権利擁護と福祉サービスの利用支援

① 日常生活自立支援事業 [地域福祉企画部]

県内12基幹社協に専門員22.5人、生活支援員190人を配置し、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等、判断能力の不十分な方に対する援助を実施。

【実利用者数】令和6年3月31日現在

認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	計
311人	291人	366人	21人	989人 (うち生保350人)

ア 契約締結審査会の開催

回数、会場、参加者：毎月1回、岩手県民生活センター、委員6人及び基幹社協専門員等

イ 専門員情報交換会

期日、会場：毎月契約締結審査会後に開催（1月、2月を除く）、岩手県民生活センター

参加対象者：専門員等25人

テーマ：業務に当たっての留意事項、各地域における支援の実施状況の共有等

ウ 定期業務点検

期間、対象：7月～12月、利用者ケースのある全市町村社協（支所、支部、事務所等を含む）

点検内容：日常的金銭管理の状況、個別ケース検討等

エ 事業説明等（県社協対応分）

運営監視小委員会、高齢者・障がい者なんでも110番、各基幹社協関係機関連絡会議等

② 成年後見推進支援事業 [地域福祉企画部]

ア 成年後見コーディネーターの取組（2基幹社協に0.5人ずつ配置）

日常生活自立支援事業利用者等に対する成年後見制度利用支援実績

支援者数：4人

- 【内訳】利用開始1人（日常生活自立支援事業利用者）、他機関支援引継ぎ1人、取下げ2人
- イ 全県を対象とした岩手県成年後見制度利用促進ネットワーク会議の開催への協力
期日、会場、参加者：① 8月7日、岩手教育会館、委員22人、傍聴者38人
② 1月19日、岩手教育会館、委員23人、傍聴者28人

ウ 研修会

(ア) 新任専門員研修会

期日、会場、参加者：4月27日、岩手教育会館、6人

内容：説明（事業概要、実務の流れ）、講義（専門員活動の実際）

(イ) 新任生活支援員研修会

期日、会場、参加者：5月29日、アイーナ、25人

内容：説明（事業概要、実務の流れ）、講義（利用者特性と関わり方のポイント）、実践紹介

(ウ) 専門員研修会

期日、会場、参加者：9月8日、マリオス、24人

内容：説明（事業概況）、講義（利用対象者の理解と状態に応じたコミュニケーション／日常生活自立支援事業の対応にかかる注意点）、講義・演習（トーキングマット入門研修）

(エ) 専門員・生活支援員研修会

期日、会場、参加者：10月19日、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウィング、61人

内容：説明（事業概況）、講義（消費者見守り研修／多様化するキャッシュレス決済）、講義及び演習（事例検討）

(オ) 情報交換会：毎月1回（1月、2月を除く）

(カ) 市町村・中核機関等の職員向け研修

期日、会場、参加者：9月5日、アイーナ、37人

内容：説明（県内の成年後見制度利用促進の概況）、実践報告（成年後見制度利用促進の取組）
情報交換

(キ) 市町村長申立支援講座

期日、会場、参加者：8月25日、ふれあいランド岩手、49人 ※オンライン開催

内容：講義（市町村長申立ての手続方法／申立て書類の作成に当たっての留意事項等／市町村長申立ての実務）

(ク) 成年後見制度普及・権利擁護体制整備研修

期日、会場、参加者：1月12日、アイーナ、170人

内容：講義（意思決定支援ガイドラインの概要）、パネルディスカッション（意思決定支援の実践）

③ 障がい者不利益取扱解消支援事業 **【地域福祉企画部】**

ア 障がい者不利益取扱い相談窓口設置運営事業

相談実績：3件（面談受付3件）

イ 障がい者不利益取扱い相談窓口職員研修事業

【会場開催】

期日、会場、参加者：2月15日、岩手教育会館、24人

内容：行政説明「本県における相談対応の概況について」、講義「相談対応の流れについて」、
演習（事例検討）「事例を踏まえた望ましい相談対応について」

【オンデマンド開催】

期日、参加者：2月29日～3月15日、92人 ※動画配信による開催

内容：講義「相談対応の流れについて」

④ 福祉サービス苦情解決事業 [福祉サービス運営適正化委員会]

ア 苦情解決小委員会の開催

委員数・開催回数：委員 6 人 計 7 回開催

内容：苦情案件対応協議、苦情受付状況報告、巡回訪問・情報交換会実施報告

イ 福祉サービスの苦情を考えるセミナーの開催

期日、会場、参加者：7 月 14 日、アイーナ、290 人

内容：苦情解決に関する講演

ウ 福祉サービス苦情解決情報交換会（基礎研修）の開催

開催回数・参加者数：計 11 回（集合 11）、243 人（県内各地で開催）

内容：苦情解決の仕組みの説明、苦情事例説明。苦情受付体制・苦情対応等に関する情報交換

エ 福祉サービス苦情解決情報交換会（応用研修）の開催

期日、会場、参加者：10 月 5 日、アイーナ、39 人

11 月 8 日、水沢地区センター、26 人

内容：苦情の事例検討及び講師による助言

オ 事業所巡回訪問の実施

実施事業所：40 か所

内容：苦情解決体制の確認、苦情解決の手引き・ポスター等の提供、苦情解決への助言

カ 事業所研修会等に対する職員派遣

派遣回数・参加者数：計 13 回（オンライン 3 回）、377 人

キ 苦情・相談の受付の概要

苦情相談 29 件、一般相談 91 件、計 120 件

(ア) 受付別件数

来所		受付方法				合計	
		書面		電話			
苦情	一般	苦情	一般	苦情	一般	苦情	一般
1	7	6	15	22	69	29	91

(イ) 苦情内容別件数

苦情内容	件数	福祉サービスの種類	件数	対応・解決の状況	件数
①職員の接遇	14	①高齢者	5	①当事者間の話し合い推奨	2
②サービスの質や量	11	②障がい者	17	②専門機関紹介・伝達	0
③説明・情報提供	0	③児童	3	③助言・申し入れ	26
④利用料	1	④その他	4	④事情調査	0
⑤被害・損害	1			⑤あっせん	0
⑥権利侵害	2			⑥知事通知	0
⑦その他	0			⑦その他	1
合計	29	合計	29	合計	29

ク 広報啓発

広報紙パートナー1月号に苦情解決事業の概要を掲載。ホームページに運営適正化委員会の役割、事業報告書、アンケート調査報告書等を掲載。苦情体制ポスターを作成及び配布した。

ケ 調査研究

苦情解決事業アンケート調査を 591 事業所に実施、報告書を取りまとめた。

苦情解決セミナー報告書を取りまとめた。

コ 運営監視小委員会の開催及び現地調査の実施

委員数・開催回数：委員 8 人 開催 5 回（対象：県社協及び 5 基幹社協）、現地調査 7 回

内容：岩手県社会福祉協議会が市町村社協福祉協議会と連携して実施する日常生活自立支援事業に関し、定期報告を求めると共に現地調査を行った。必要に応じて助言を行った。

- サ 運営適正化委員会全体会の開催
委員数・開催回数：委員 14 人 開催 1 回
内容：事業報告・事業計画の承認
- シ 委員選考委員会の開催
委員数・開催回数：委員 6 人 開催なし

(3) 民生委員・児童委員の活動支援

① 民生委員児童委員活動支援事業 [地域福祉企画部]

岩手県民生委員児童委員協議会事務局を受託し、民生委員活動費等の交付事務を担った。また、県の補助又は委託等を受け、民生委員・児童委員の資質向上及び活動支援のための事業を行った。

ア 研修会等

(ア) 新任民生委員児童委員研修会 計 1,008 人

期日	会場	参加者
7月7日	久慈市総合福祉センター	62人
7月14日	アイーナ	2回、150人
7月19日	宮古市民文化会館	71人
7月26日	一関文化センター	149人
8月4日	釜石市民ホール TETTO	56人
8月9日	奥州市文化会館 Z ホール	149人
8月22日	アイーナ	2回、230人
8月24日	陸前高田市コミュニティホール	55人
8月30日	北上市文化交流センターさくらホール	77人

内容：講義 民生委員・児童委員の役割（県民児協役員）
講義「民生委員・児童委員活動 Q&A」解説（県社協）
講義「民生委員活動記録」記入方法について（各広域振興局）
情報交換

(イ) 主任児童委員研修会

期日、会場、参加者：9月14日、ツガワ未来館アピオ、162人

内容：講義「地域と学校がパートナーとなって子供の成長を支える『コミュニティ・スクール』のあらまし」

実践発表「わが町のコミュニティ・スクールの取組」

グループ意見交換「主任児童委員活動と地域との連携について」

(ウ) 民生委員等を対象とした相談事業研修

期日、会場、参加者：9月6日、ホテルニューカリーナ、81人

内容：講義「事例を通して支えあう～仲間と学ぶ事例学習～」

事例学習「私に対応した相談事例」

参加者から提出のあった事例に講師のコメントを加え、「私に対応した相談事例集」を発行（3,920部）、配布

(エ) 中堅民生委員児童委員研修会

期日、会場、参加者：12月4日、5日、ホテルメトロポリタン盛岡、230人

内容：講義「地域福祉の推進と民生委員固有の役割」

演習「民児協における中堅委員の役割～対人援助の基本を踏まえて～」

(オ) 市町村民生児童委員協議会会長・副会長研修会

期日、会場、参加者：令和6年1月17日～18日、アートホテル盛岡+WEB、440人（会場134

人・WEB306人)

内容：講演「民生委員・児童委員活動と人権擁護」

説明「『災害に備える民生委員・児童委員活動に関する指針』に基づいた活動について」

説明「県内での特殊詐欺事件の状況と対策」

活動事例発表、行政説明

(カ) 岩手県保健福祉部と岩手県民生委員児童委員協議会との懇談会

期日、会場、参加者：11月17日、サンセール盛岡、21人

懇談内容：民生委員・児童委員の欠員解消、負担軽減、PR活動の充実等

(キ) 岩手県民生委員児童委員協議会役員による県知事表敬訪問

期日、会場、参加者：11月17日、岩手県庁、14人

イ 指定民生委員児童委員協議会の推進

(ア) 県社協指定

指定期間：令和5～6年度

指定民児協：希望なし

(イ) 県民児協指定

指定期間：令和4～5年度

指定民児協：盛岡市河南地区、花巻市湯口地区

ウ 互助事業の実施

民生委員が死亡・傷害、被災、配偶者死亡の際、弔慰金や見舞金の給付を行った。

給付件数、金額：94件、1,035,000円

内訳：	公務傷害	0件	0円
	一般死亡	12件	360,000円
	配偶者死亡	15件	150,000円
	一般傷病(2か月未満)	5件	40,000円
	一般傷病(2か月以上)	37件	370,000円
	退任慰労(在任9年未満)	10件	30,000円
	退任慰労(在任9年以上15年未満)	10件	50,000円
	退任慰労(在任15年以上)	5件	35,000円
	災害見舞金(全壊・大規模半壊)	0件	0円

エ 助成事業

(ア) 広域民生児童委員研修等事業費の助成

研修事業の実施を支援するため、10広域圏へ助成実施案内を送付、10広域圏から助成申請を受け、民生児童委員協議会又は社会福祉協議会に助成金を交付した。

(イ) 市町村民生児童委員OB会への助成

市町村民生児童委員OB会組織・活動状況調査により活動を確認した10市町の15組織に対し、助成金を交付した。

オ 東日本大震災に関連する対応(県補助事業)

(ア) 沿岸地区民児協訪問事業

4市町の地区民児協会長及び副会長を対象に、正副会長が訪問し意見交換を実施。報告書430部を発行。

対象市町	期日	会場	参加者数
宮古市	10月4日	宮古市総合福祉センター	26人
山田町	10月5日	山田町中央コミュニティセンター	11人
陸前高田市	10月18日	陸前高田市民文化会館	15人
釜石市	10月19日	鶴住居地区生活応援センター	14人

カ 広報・啓発活動

いわて県民児協だより 3,980 部の発行

(4) 東日本大震災からの復興支援と災害時対応体制の整備

① 東日本大震災被災者生活支援事業 [地域福祉企画部]

ア 生活支援相談員の配置

配置人数 54人 (3月末、うち県社協2人)

活動対象世帯 1,699世帯

支援延べ回数 30,748回

イ 研修会の開催

(ア) 新任研修 ⇒ 講師都合により延期 ⇒ 支え合いマップ勉強会に統合

(イ) ファシリテーション研修 (全3回コース)

期日、会場、参加者：第1回 5月26日、都南公民館、29人

第2回 6月15日、アイーナ、29人

第3回 7月11日、アイーナ、29人

内容：講義と演習により、住民の合意形成や主体形成を促すための進行役の技術を学ぶ。

(ウ) 現地事例検討会 6回

期日、会場、参加者：9月8日、宮古市総合福祉センター、26人

9月14日、大槌町文化交流センター (おしゃっち)、20人

9月15日、釜石PIT、13人

10月12日、山田中央公民館、35人

11月27日、大船渡市Y・Sセンター、19人

11月28日、陸前高田市保健福祉総合センター、15人

内容：沿岸6市町ごとに、社協他部署、行政、民生委員、関係機関等の多職種・多機関で事例を検討することで、重層的な支援体制につなげていくことを目的に実施。

(エ) 支え合いマップ勉強会 (全2回コース)

期日、会場、参加者：第1回 7月24日、大槌町文化交流センター (おしゃっち)、29人

第2回 11月8日、大槌町文化交流センター (おしゃっち)、27人

内容：講義及びグループワークにより、生活支援相談員がすすめる支え合いマップのポイント、実践で生かせる工夫やコツを学ぶ。

(オ) 地域をつなぐコーディネート実践研修 (全2回コース)

期日、会場、参加者：前期 9月25日、釜石PIT、26人

後期 12月10日(大船渡会場)、大船渡市防災観光交流センター、16人

12月11日(宮古会場)、宮古市総合福祉センター、16人

内容：講義及び演習により、地域支援に関わる生活支援相談員が住民ニーズに基づいて行うコーディネートに必要な視点と手法を学ぶ。

(カ) 生活支援相談員活動研究会

期日、会場、参加者：1月24日～1月25日 ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING、35人

内容：講義、情報共有、ディスカッションにより活動の振り返りや今後の方向性の共有・検討を行う。

ウ 生活支援相談員担当課長等会議の開催

期日、会場、参加者：2月7日、トーサイクラシックホール岩手、15人

内容：今後の見通しについての意見交換、県地域福祉課から「被災者支援の方向性」の説明。

エ 世帯アセスメント基準【支援の最終版】説明会の開催

期日、会場、参加者：6月26日、大船渡市総合福祉センター、15人

6月30日、オンライン、10人

7月5日、大槌町文化交流センター（おしゃっち）、10人

内容：本会からの説明、意見交換により、共通理解を図る。

オ 令和5年度東日本大震災被災者実態調査研究の実施

被災者実態調査研究委員会（委員10人）

期日：6月20日、10月31日、12月25日、2月27日

内容：アセスメント基準票2,500件の集計・分析、住民アンケート項目の検討、調査研究報告書の作成460部及び本会ホームページへの掲載

カ 中長期的な被災者支援検討会の開催

中長期的な被災者支援検討会（委員11人）

期日：7月3日、9月7日（作業部会）、11月28日、3月13日

内容：生活支援相談員による被災者支援事業を振り返り成果の検証と令和8年度以降に必要な支援の検討

キ 地域見守り支援拠点の設置

宮古市1、大船渡市3、陸前高田市2、釜石市1、大槌町1、山田町4（出張拠点含む）計12か所

ク 多職種・多機関による被災者支援

（ア）災害公営住宅等自治会継続支援への出席

計6回：山田町支援者ミーティング（自治会）

（イ）各種連絡会議・打合せ・マップ作成等

計34回：宮古市、大船渡市、花巻市、陸前高田市、釜石市、大槌町、山田町、内陸避難者支援ネットワーク会議、岩手連携復興ミーティング（県庁ミーティング）、福島県社協研修対応、行政・社協意見交換等

（ウ）アドバイザーの派遣

・ 花巻市社協（8月24日）

内容：災害公営住宅における住民同士の共助の体制づくりの助言

・ 山田町社協（10月16日）

内容：支え合いマップの一連の流れへの助言

・ 宮古市社協（1月16日）

内容：支え合いマップ課内研修会講師

ケ 「生活支援相談員ニュースレター」の発行

発行月：4月～3月 計7回発行

配布対象：生活支援相談員、市町村社協、県、他県社協、全社協等関係機関

発行部数：123部/1回（その他、本会ホームページに掲載）

コ 生活支援相談員活動事例集2023の発行

発行月：3月

内容：講師助言コメント付きの生活支援相談員活動事例、支え合いマップの取組のレポート、地域支援活動レポート、研修実績等

配布対象：県内生活支援相談員、県内市町村社協・行政、都道府県・指定都市社協

発行部数：400部

サ 現地連絡会議への出席

市町村	開催日
山田町	4月19日、5月17日、6月15日、8月2日、9月13日、10月15日、3月14日

② 災害復興基金事業 **[総務部]**

東日本大震災後に本会に寄せられた寄付金のうち、特に用途明示のない寄付金により創設し

た「災害復興基金」を、本会や市町村社協が行う被災者支援活動の財源として活用した。

ア 復興基金積立額の推移

(単位：千円)

年度	積立額	取崩額	年度末残高
～H22	5,563	—	5,563
H23～H27	205,311	53,066	157,808
H28～R2	27,331	73,643	111,496
R3	1,891	5,409	107,978
R4	2,866	3,439	107,405
R5	4,111	6,897	104,619
計	247,073	139,442	

イ 令和5年度事業執行状況

(単位：千円)

	市町村社協		県社協	計
	件数	金額		
助成金	1	115	—	115
事業費	—	—	6,782	6,782
計	1	115	6,782	6,897

③ ボランティア・市民活動センター事業 (災害発生時) [地域福祉企画部]

ア 東日本大震災等からの復興支援

ホームページ及びFacebookを活用した災害支援活動情報の発信を行った。

イ 災害ボランティアセンター設置運営研修等支援

(ア) 広域市町村ネットワーク連絡会議の開催

平時からの関係機関、関係者の「顔の見える関係」の構築を目指し、県内10広域で開催。

広域圏名	開催日	開催地	参加者
県央	6月27日	雫石町	36人
花巻・遠野	10月25日	花巻市	23人
北上	7月25日	西和賀町	14人
胆江	9月14日	金ヶ崎町	26人
一関	11月7日	平泉町	19人
久慈	9月22日	野田村	14人
宮古	11月11日	山田町	19人
釜石	10月16日	釜石市	33人
気仙	9月5日	陸前高田市	25人
二戸	9月13日	一戸町	28人

(イ) 災害ボランティアセンター設置運営研修の実施

災害時において、市町村社会福祉協議会が運営する災害ボランティアセンターが円滑に設置・運営されるよう、県内10広域で研修の実施。

広域圏名	開催日	開催地	参加者
県央	7月29日	雫石町	39人
花巻・遠野	10月25日	花巻市	51人
北上	10月12日	西和賀町	46人
胆江	11月8日	金ヶ崎町	60人
一関	11月7日	平泉町	37人
久慈	10月20日	野田村	25人
宮古	11月11日	山田町	22人
釜石	10月16日	釜石市	33人
気仙	11月15日	陸前高田市	59人
二戸	9月13日	一戸町	30人

- ④ 災害時広域支援ネットワーク(災害派遣福祉チーム)推進事業 [福祉経営支援部]
- ア 事務局体制の強化
 - ・マニュアルに基づく連絡訓練 (7月29日、9月12日～13、11月10日～12日)
 - ・局内における派遣初動訓練 (7月29日、9月12日～13、11月10日～12日)
 - イ チーム員の養成 (県委託業務)
 - 新規募集：登録者 31 人 (令和6年3月時点登録者 276 人)
 - 登録研修：2月26日～27日、31人修了
 - スキルアップ研修1：9月12日～13日、7人修了
 - スキルアップ研修2：11月10日～12日、3人修了
 - 県及び市町村防災訓練参加等訓練の実施：7月29日
 - ウ チーム検討部会の開催 (県事業) 県による実施なし
 - エ チーム員連絡協議会の開催 (県事業) 県による実施なし
 - オ 災害派遣医療チーム (DMAT)、災害派遣精神医療チーム (DPAT)、保健師チームとの合同研修の実施：7月29日
 - カ 社会福祉施設における事業継続計画 (BCP) の策定に係る研修の実施：7月27日
 - キ 他県の研修会等でのシンポジスト、講師等対応
 - 愛知県 DWAT スキルアップ研修
 - ク 令和6年能登半島地震における岩手県 DWAT の派遣
 - 派遣期間：令和6年1月19日～25日、6名派遣、金沢市、小松市、七尾市、志賀町
 - 令和6年2月16日～26日、1名派遣、輪島市

2 住民の福祉活動の振興

(1) ボランティア活動の振興と福祉教育の推進

- ① ボランティア・市民活動センター事業 (通常時) [地域福祉企画部]
- ア 研修会の開催
 - (ア) ボランティア活動研究会の開催
 - ※災害対応のため中止
 - (イ) ボランティアコーディネーター研修会の開催
 - 期日、会場、参加者：2月13日、わらび、23人 (市町村社協職員等)
 - 内容：講義、ディスカッション等
 - (ウ) 暮らし支えるボランティアの集い
 - ※災害対応のため中止
 - (エ) 地域で育む福祉教育推進セミナー
 - 期日、会場、参加者：2月13日、わらび、22人 (市町村社協職員、教育機関職員等)
 - 内容：事例発表
 - イ 多様なボランティア機会の提供とボランティア活動への参加促進
 - (ア) 「2023 ボランティア体験 in いわて」の実施
 - 期間：4月1日～1月31日
 - プログラム提供施設数、プログラム数：23団体、29プログラム
 - 参加者総数：1,129人
 - 主な体験内容：施設利用者との交流や介助等の手伝い、施設行事への参加、高齢者宅の清掃・見守り活動、スノーバスターズ
 - (イ) ボランティア出前講座の実施

対象：企業・各種団体・学校・市町村社協等
内容：ボランティア基礎講座、キャップハンディ体験等
実績：8か所、16回、439人参加

(ウ) いわて車いすフレンズ活動の支援（共同募金配分金事業）

対象：県内工業高校等活動参加希望校
実績：活動実施校6校 整備完了車いす38台、助成金交付3校

a いわて車いすフレンズ整備技術講習会

期日、会場、参加者：7月10日、ふれあいランド岩手、21人（活動参加工業高校5校）
内容：講話、車いす修理、修理済み車いすの梱包作業

b 活動助成

1校当たり1万円、計3万円を助成（5校は辞退）

c 車いす輸送費のための使用済み切手・書き損じはがきの収集活動

令和5年度実績（累計）：129団体、24個人

(エ) 21世紀スノーバスターズプロジェクト（共同募金配分金事業）

各地域のひとり暮らし高齢者や、障がい者等の冬期間の雪かきを支援する「スノーバスターズ」活動を充実させるための取組への支援を8市町村で実施した。

・活動助成

総額215,000円、7市町村9スノーバスターズへ助成

ウ ボランティア団体の支援

(ア) 岩手県ボランティア団体連絡協議会総会

期日、会場、参加者：6月29日、ふれあいランド岩手、28人

内容：令和4年度事業報告、役員改選、幹事承認、令和5年度事業計画案、情報交換

(イ) 市町村ボランティア連絡協議会総会への出席

期間、訪問実績：4月～8月、15か所

内容：ボランティアセンター事業実施に係る連携強化、活動状況等の情報収集及び当該市町村社協ボランティアセンター支援

エ 企業・団体の社会貢献活動のコーディネート

寄付・寄贈に係るコーディネート及び寄贈式の実施6件

助成金・寄付金 総額122,038円

福祉巡回車1台、車いす22台、使用済み切手3.3kg、書き損じハガキ147枚

オ 情報発信

(ア) 県社協ホームページ及び「ずっぱりボランティアいわて」ホームページ

県内のボランティア活動、助成金情報、研修会等の案内を発信した。

(イ) 「岩手県社会福祉協議会災害関連情報ページFacebook」

災害ボランティアに関する活動情報等を発信した。

(ウ) 「いわてのNPO・ボランティア活動情報誌PIN - パイン」

期日、会場：編集会議 5・7・12月（年3回）、アイーナ

内容：ボランティア体験inいわて、ボランティア保険、ボランティア活動等に関する寄稿

カ 地域で育む福祉教育推進事業の実施

内容：市町村社協が取り組む活動費用の一部助成を実施。

実績：3市町村社協、計30,000円を助成

キ その他

(ア) 企画委員会

<第1回> 期日、会場、参加者：11月22日、ワライおよびふれあいランド岩手、10人

内容：令和4年度事業実施状況報告、令和5年度事業企画内容および地域で育む福祉

教育推進事業助成先の選定協議

- ＜第2回＞ 期日、会場、参加者：1月29日、ワライおよびふれあいランド岩手、12人
内容：令和5年度事業実施状況報告、令和5年度事業企画内容および地域で育む福祉教育推進事業助成先の選定協議

(イ) 運営委員会

- ＜第1回＞ 期日、会場、参加者：1月31日、ワライおよびふれあいランド岩手、10人
内容：令和5年度事業実施状況報告、第4期県社協活動計画（ボランティア・市民活動センター事業）について協議
- ＜第2回＞ 期日、会場、参加者：3月22日、ワライおよびふれあいランド岩手、9人
内容：令和5年度事業実施状況報告、令和6年度事業計画について協議

(2) 情報発信機能の強化

- ① 機関紙「パートナー」発行及びホームページ等による情報発信事業 **[総務部]**
本会の機関紙「パートナー」を年6回（毎号5,000部）発行し、社会福祉に関する情報や本会をはじめ会員施設や市町村社協の活動を紹介するなど、見やすく分かりやすい機関紙発行に努めた。
ホームページについては、社会福祉関係者はもとより、県民が利用しやすい内容に充実・改善し、常に新しい情報の提供に努めた。（ホームページ年間アクセス回数：22.3万回）

3 福祉人材の養成と確保

(1) 福祉人材の養成とスキルアップ支援

- ① 社会福祉従事者等研修・資格取得講座 **[福祉人材研修部]**
福祉サービスを担う人材の確保や育成、社会福祉・介護従事者の資質向上や定着促進のためのキャリアアップ等を目的に、経営者及び社会福祉従事者を対象とした研修を実施した。
- ア 福祉施設のためのリスクマネジメント講座
期日、参加者：第1回12月9日・第2回12月22日、第3回1月12日
オンライン開催、計148事業所、260人
内容：仕組みでマネジメントする現場のリスク、組織的な取組みの進め方、具体的事例から学ぶリスクマネジメント（高齢分野・障がい分野・保育分野）に係る講義及び演習
- イ 社会福祉従事者新任職員研修会
期日、会場、参加者：7月4日・5日ホテルメトロポリタン盛岡 NEWWING 130人
内容：職場生活の基本、福祉倫理と運営管理、キャリアデザインとセルフマネジメント、メンバーシップと課題解決、多職種連携とチームアプローチに係る講義及び演習
- ウ 社会福祉従事者リーダー職員研修会
期日、会場、参加者：10月26日・27日、ツガワ未来館アピオ、92人
内容：業務課題の解決と実践研究、リーダーシップとメンバーシップ、福祉の専門性とキャリア形成、リーダー職員の役割とコーチング、多職種連携とチームアプローチに係る講義及び演習
- エ 介護支援専門員実務研修受講試験準備講習会
期日、会場、参加者：8月11日・12日、ふれあいランド岩手、33人
内容：試験に向けた介護支援分野のポイント、保健医療・福祉分野のポイントに係る講義
- ② 介護職員等医療的ケア研修事業 **[福祉人材研修部]**
ア 令和5年度岩手県介護職員等医療的ケア研修（第一号、第二号研修）指導者養成講習
期日、会場：**【講義・演習】**9月14日A：9月28日、29日 ふれあいランド
B：10月25日、30日 アイーナ

【指導演習】 A：10月18日、19日 アイーナ、 B：11月8日、9日 アイーナ
参加者（修了者）：36人（35人）

内容：介護職員等による医療的ケアの実施、研修カリキュラム、喀痰吸引のケア実施、経管栄養のケア実施、安全管理体制とリスクマネジメント等の講義及び演習

イ 令和5年度岩手県介護職員等医療的ケア研修（第一号・第二号研修）

（ア）基本研修（講義・演習）及び実地研修

期日、会場：【講義】A：7月5日、6日、11日～13日、24日～26日 アイーナ

B：8月10日、11日、23日～25日、30日～9月1日 アイーナ

【演習】A：10月17日～19日、B：11月7日～9日 アイーナ

【実地研修】A：10月20日～1月8日、B：11月10日～1月29日 所属する施設・事業所又は居宅

参加者（修了者）：112人（105人）

（イ）介護福祉士養成校等修了者であって、医療的ケア研修基本研修：講義及び演習の修了者を対象とした実地研修及び技術確認演習

期日：会場【実地研修】A：9月30日～1月17日 施設・事業所又は居宅

B：10月31日～1月31日 施設・事業所又は居宅

【技術確認演習】

A：9月28日、29日 ふれあいランド 48人

B：10月25日、30日 アイーナ 46人

参加者（修了者）：125人（117人）

ウ 令和5年度介護職員等医療的ケア研修（第三号研修・特定の者対象）

期日、会場：【講義】9月11日、12日、ふれあいランド岩手

【実地研修】9月15日～12月13日 施設・事業所又は居宅

参加者（修了者）：10人（修了者8人）

③ 福祉人材確保等貸付事業 [\[福祉経営支援部\]](#)

ア 介護福祉士修学資金等貸付事業

介護福祉士及び社会福祉士等の人材の養成と確保を目的とした貸付け、介護職として一定の知識及び経験を有する者が再就職するための準備に必要な費用の貸付けを実施。

（ア）新規貸付決定状況

貸付金の種類	令和5年度		備考
	新規貸付数	貸付金額	
介護福祉士（社会福祉士）修学資金	42人	61,367千円	
介護福祉士県内養成施設	31人	54,360千円	
県内養成施設	27人	45,080千円	
県外養成施設	4人	9,280千円	仙台大 1、東北福祉大学1人、仙台医秘書1、八戸学院短大1
社会福祉士養成施設	11人	7,007千円	うち県外養成施設1人
介護福祉士実務者研修受講資金	55人	7,945千円	
再就職準備金	2人	794千円	
福祉系高校修学資金	5人	1,930千円	
介護分野・障害福祉分野就職支援金	0人	0千円	
合 計	104人	72,036千円	

(イ) 貸付状況 (令和6年3月現在)

貸付金の種類	猶予中	貸付中	未交付	免除者	返還中	返還済	計
介護福祉士 (社会福祉士) 修学資金	225 人	118 人	3	342 人	31 人	75 人	794 人
介護福祉士実務者研修受講資金	127 人	58 人	1 人	179 人	6 人	42 人	413 人
再就職準備金	6 人	—	—	34 人	—	1 人	41 人
介護分野・障害福祉分野 就職支援金	1 人	—	—	—	—	—	1 人
福祉系高校修学資金	6 人	14 人	—	—	—	—	20 人

イ 保育士修学資金貸付等事業

岩手県における保育士資格の新規取得者の確保、保育士の離職防止、潜在保育士の再就職支援を図るため、指定保育士養成施設に在学し、保育士資格の取得を目指す学生に対する修学資金のほか、潜在保育士の再就職のための準備に必要な費用、未就学児を持つ保育士の子どもの預かり支援に必要な費用の貸付けを実施。

(ア) 新規貸付決定状況

貸付金の種類	令和5年度	
	貸付数	貸付金額
保育士修学資金	30 人	千円
県内養成施設	26 人	37,996 千円
県外養成施設	4 人	6,400 千円
就職準備金	1 人	355 千円
未就学児を持つ保育士の子どもの預かり支援事業利用料金の一部貸付	—	—
合 計	31 人	44,751 千円

(イ) 貸付状況 (令和6年3月現在)

貸付金の種類	猶予中	貸付中	未交付	免除者	返還中	返還済	計
保育士修学資金	116 人	26 人	—	13 人	17 人	4 人	176 人
就職準備金	2 人	—	—	7 人	—	—	9 人
未就学児を持つ保育士の子どもの預かり支援事業利用料金の一部貸付	—	0 人	—	1 人	0 人	0 人	1 人

ウ ひとり親家庭高等職業訓練促進支援資金貸付事業 (6 ページ参照)

エ 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業 (7 ページ参照)

(2) 福祉人材の確保とマッチングの強化

① 福祉人材センター運営事業 [福祉人材研修部]

ア 福祉人材無料職業紹介

「福祉人材情報システム」を運用し、無料職業紹介所として、求人求職のあっせんを中心に事業を行った。求職者に対し、就職や資格取得に関する相談、福祉全般に関する情報提供を行ったほか、毎月第2土曜日を相談日として開所し、利用促進を図った。また、社会福祉法の一部改正による離職した介護福祉士等の届出制度は、登録者の増を目的に各種の広報周知に努めた。

【求人・求職の実績】

年度	新規求人数(人)	新規求職数(人)	採用数 (件)	求人求職相談数(件)
令和5年度	4,082	956	127	7,269
令和4年度	4,281	964	141	6,516
令和3年度	4,479	1,005	182	6,961
令和2年度	4,839	1,012	172	7,085
令和元年度	4,769	1,046	177	8,166

イ 各種会議・研修会への参加

(ア) 業務・法令研修会

期日：4月21日（オンライン）

(イ) 福祉人材情報システム研修会

期日：4月（アーカイブ配信）

(ウ) 職業紹介責任者講習会

期日：5月11日（オンライン）

(エ) いわてで働こう推進協議会

期日、会場：第1回：6月5日、岩手教育会館

第2回：2月7日、岩手教育会館

(オ) いわて就職氷河期世代活躍支援プラットフォームに係る担当者会議

期日、会場：第1回：7月6日、盛岡第2合同庁舎

第2回：3月5日、盛岡第2合同庁舎

(カ) 岩手県介護労働懇談会

期日、会場：11月28日、プラザおでって

(キ) 福祉人材センター全国連絡会議

期日、会場：9月22日、全国社会福祉協議会（東京都）

(ク) 北海道・東北ブロック福祉人材センター・福祉人材バンク連絡会議

期日、会場：12月14日～15日、TKP ガーデンシティ premium 仙台西口（宮城県）

(ケ) 福祉人材センター・バンク基幹職員会議

期日、会場：7月10日～11日、全国社会福祉協議会（東京都）

(コ) 多様な就労の促進連絡会議

期日、会場：10月27日、全国社会福祉協議会（東京都）

※ 上記のほか、県内の各種会議に参画した。

ウ 主催会議

(ア) 福祉人材センター運営委員会

<第1回> 期日、会場：7月21日、都南公民館

<第2回> 期日、会場：1月29日、アイーナ、12人

(イ) 福祉人材養成関係機関等連絡会議

県内3か所の福祉人材養成校を個別訪問しヒアリングを行った。

期日、ヒアリング先：2月13日、岩手女子高等学校

2月19日、盛岡大学

3月4日、専修大学北上福祉教育専門学校

内容：就職状況、入学者の推移、学生・生徒の就職活動の動向、学生・生徒の就労促進に向けた取組状況と課題

エ 雇用関係給付金の取扱相談窓口の開設

制度の説明及び周知を行うとともに、制度対象者の手続を行った。

・特定求職者雇用開発助成金の申請 3件

内訳：高年齢者2件、母子家庭の母等1件

オ 広報・啓発事業

(ア) 岩手県福祉人材センターのPR

センターの周知、PRを目的に、オリジナルクリアファイル1,000部、人材センターリーフレット2,000部、求人事業所向け人材センターPRチラシ5,000部を作成し、求職者及び求人事業所に配布した。

(イ) 求人情報紙・地域情報紙、マスメディア等を活用した広報事業

「介護・保育・福祉の就職相談会」等のイベント開催に当たって、IBC ラジオスポット広告（13本）、Google サイト内でのディスプレイ広告（7月1日～7月29日）を活用し、開催の周知、PR、求職者の参加募集を行った。

新規求職登録者の増加を促進するため、Google 検索広告（11月23日～12月24日、3月1日～3月26日）Google ディスプレイ広告（3月1日～3月26日）、Facebook 広告（3月1日～3月26日）、YouTube マルチフォーマット広告（3月18日～3月31日）、求職者向け人材センター案内チラシ（16,000部）のポスティングを行った。

(ウ) 岩手県福人材センターホームページ

ホームページにより、PR 動画や事業案内、求人情報、各種資料等の情報発信を随時行った。

カ 「介護・保育・福祉の就職相談会」の開催

福祉の職場への就職希望者や学校の進路指導担当者等を対象に、福祉の職場の現状や就職に関する情報提供、福祉施設・事業所等との個別面談の場として開催した。

期日、会場、参加者：7月29日、ホテルメトロポリタン盛岡本館、出展事業所 43、
参加者 86人

内容：事業所との個別面談、情報提供・個別相談

キ 事業所訪問

社会福祉施設の人材の確保・定着に向けた取組等の把握を行い、人材確保の支援と人材センターへの求人件数増加を目的に施設訪問を実施した。

期間、訪問数：4月～12月、障がい者（児）支援施設 13か所

ク 他団体就職フェア、就職ガイダンス等への参加

- ・(公財) ふるさといわて定住財団（4回）
- ・日建学院、ニチイ学館、介護労働安定センター、シルバー人材センター（7回）
- ・岩手県U・I ターン就職フェア（1回）
- ・ハローワーク等関係団体（56回）

ケ 福祉人材養成校等でのガイダンス・相談会の実施等

(ア) 福祉の雇用動向及び福祉人材センターの事業内容について説明を行った。

期日、実施先：11月29日、業界研究セミナー「オシゴト展覧会」、岩手県立大学
12月6日、社会福祉学部就職セミナー、岩手県立大学

(イ) 高等学校進路指導部会で本会が作成した福祉の仕事の説明資料の配布を依頼した。

(資料配布) 6月16日、高等学校指導指導部会

コ 小学生・中学生・高校生を対象とした福祉のしごと紹介事業（出前講座）の開催

（令和5年度は開催中止）

サ 介護福祉士等届出制度の推進

登録者 142人 ※保育士を含む

シ 福祉のしごと体験事業の実施

福祉分野の就労経験がない求職者に対し、障がい・児童分野の仕事への理解促進を図り、就職を支援することを目的として、県内福祉施設・事業所で、しごと体験事業を実施した。

実績：体験総数 延べ6人

② 介護人材マッチング支援事業 [\[福祉人材研修部\]](#)

本県における福祉・介護人材の確保を目的として、県内に6人のキャリア支援員を配置し、きめ細かな求職者への相談支援、福祉施設・介護事業所訪問による求人開拓、働きやすい職場づくりに向けた指導・助言などの事業を行った。

ア キャリア支援員の配置及び活動拠点

盛岡市（2人）、奥州市、久慈市、宮古市、大船渡市（各1人）に計6人を配置

イ 事業実施内容 ※ () 内は前年度実績

(ア) 各ハローワーク、自治体等と連携した就労相談窓口の開設（定期的な相談日の開設出張相談、就職面接会等へ参加）及び臨時的相談対応

実施状況：求職者相談 1,422 (1,835) 件、採用者数 123 (226) 人

(イ) 福祉施設・事業所の計画的巡回訪問と求人開拓

実施状況：事業所訪問 387 (376) 件、新規事業所開拓数 21 (5) 件
新規求人開拓数 17 (13) 件

(ウ) 各ハローワーク、自治体、市町村社協等関係機関の訪問

実施状況：443 (596) 件

(エ) 介護職の潜在有資格者に対する福祉業界への再就職を支援する講座

開催地：二戸、久慈、盛岡、北上、一関、宮古、釜石、大船渡

参加者：52 (43) 人

(オ) 介護施設見学バスツアー

開催地：県央、県北、宮古

参加者：19 (16) 人

(カ) 小規模事業所を対象とした合同面談会

開催地：盛岡 (2回)、県北、県南、宮古、釜石、大船渡

参加状況：参加事業所 40 (46)、参加者 69 (84) 人

(キ) 小規模事業所合同研修会

開催地：久慈、二戸、盛岡、岩手中部、胆江、両磐、宮古、釜石、気仙、大船渡

実施状況：18 (27) 回、参加事業所 184 (165)、参加者 316 (442) 人

(ク) 介護カフェ（介護のしごと悩み相談会）

開催地：久慈、盛岡 (2回)、奥州、北上、宮古、釜石、大船渡

実施状況：8回 (8)、参加者 25 (41) 人

(ケ) 介護入門的研修会

開催地：盛岡、宮古

修了者：14 (24) 人

(コ) 介護人材定着セミナー

期日：会場：12月12日 アイーナ 及びオンライン

参加者：計 113 人

(サ) U・I ターンイベントへの参加

「岩手県U・I ターン就職フェア」への参加

期日：会場 9月30日 東京交通会館（東京都）

ウ 各種会議・研修会への参加

(ア) 福祉人材情報システム研修会

期日・会場：4月21日（オンライン）

(イ) マッチング機能強化研修

期日・会場：12月7日、8日 全国社会福祉協議会（東京都）

(ウ) ブロック別マッチング機能強化研修

期日、会場：12月14日、15日（宮城県）

(エ) スキルアップ研修会での内部研修

期日・研修テーマ：①10月25日(水)「メンタルコーチング」

②2月28日(水)「効果的な広報活動について」

エ 介護の職場体験事業の実施

福祉分野の就労経験がない求職者等の福祉の仕事に対する理解促進を図り、就職を支援すること

を目的として、県内福祉施設・事業所における日常業務の体験事業を実施した。

実績：体験総数 34 人 (39) 人 (平均 46.35 歳／体験日数 2.06 日)

介護の職場への就職者 24 (23) 人 (70%)

オ 情報紙の発行

県内の高齢者福祉施設・事業所向け情報紙「エール」を発行した (年 3 回・各 1,500 部)。

③ 保育士・保育所支援センター保育士人材確保事業 [福祉人材研修部]

県内の保育人材を確保するため、岩手県の委託事業として「岩手県保育士・保育所支援センター」を設置。専任コーディネーター 2 人体制で、求人求職のマッチングに向けて、保育士の就職相談等の支援を行った。特に、有資格者で現在働いていない潜在保育士の再就職に向けた支援に重点を置いて事業を実施した。

ア 保育士・保育所支援センター設置事業実績

	潜在保育士	その他保育士	保育所等	その他施設	計
マッチング	60 件	40 件			100 件
相談件数	519 件	251 件	435 件	9 件	1,214 件

※保育士・保育所支援センターの相談支援を経て保育士が就職した場合、マッチング成功としてカウント

イ 令和 5 年度児童福祉研修事業 (保育士人材確保)

(ア) 新任保育士 (就業継続支援) 研修会

期日、会場、参加者：11 月 14 日、アイーナ、参加者 66 人

(イ) 潜在保育士 (再就職支援) 研修会

期日、会場、参加者：6 月 16 日、8 月 29 日、10 月 19 日、11 月 21 日 ふれあいランド岩手、参加者 28 人

ウ 県内保育所訪問・自治体等の訪問

訪問回数：36 回

エ ほいくしカフェの開催

潜在保育士の再就職を支援するため、ほいくしカフェを開催した。

期日、会場、参加者：7 月 25 日 ふれあいランド岩手、参加者 10 人

オ ほいくのしごと出張相談の実施

実施回数：44 回 (延べ参加者 36 人)

カ 広報・周知

保育士・保育所支援センター及び実施事業の周知、PR のため、情報紙悠遊 (5 月 30 日号)、Google ディスプレイ広告 (広告期間：8 月 1 日～1 月 31 日)、Google リスティング広告 (広告期間：11 月 21 日～12 月 25 日)、インスタグラム広告 (広告期間：2 月 22 日～3 月 21 日) を掲載したほか、自治体広報紙への記事掲載を依頼し周知を図った (19 回掲載)。

キ 「介護・保育・福祉の就職相談会」への出展

介護・保育・福祉の就職相談会内に保育コーナーを設置し、就職説明会を実施した。

期日、会場：7 月 29 日、ホテルメトロポリタン盛岡本館

ク 会議への参加

マッチング機能強化研修 (保育士・保育所支援センター分科会含む)

期日、会場：12 月 7～8 日、全国社会福祉協議会 (東京都)

④ 介護等体験受入調整事業 [福祉経営支援部]

ア 介護等を体験した学生

	大学	短大	計
県内	169 人	0 人	169 人

県外	2人	0人	2人
計	171人	0人	171人

イ 体験を受け付けた学校数

	大学	短大	計
県内	3校	0校	3校
県外	2校	0校	2校
計	5校	0校	5校

ウ 受け入れた施設数

33施設

(3) 退職共済制度の適正運営と福利厚生事業の充実

① 民間社会福祉事業職員共済事業 [総務部]

県内の民間社会福祉事業施設及び団体に勤務する職員の福利厚生を目的として本会が実施している民間社会福祉事業職員共済事業の財政運営の健全化を図るため、平成27年3月に策定した「積立水準回復計画」に基づき、事業の適正な運営に努めた。

総合利回りの目標は年率3.0%としており、最終の修正総合利回りは三資産バランス運用が年率8.93%、パッシブ運用が年率17.16%となった。

また、財政の状況を示す令和5年度末現在の責任準備金率は、前年度から7.64ポイント増加して82.46%となり、積立水準回復計画による「金融機関による収支予測計算の結果」、令和5年度の78%を4.46ポイント上回った。

ア 加入及び会費受入れ・給付状況

令和5年度末 加入状況		令和5年度における会費受入・給付状況 (百万円)			
加入 施設団体	加入人数	会費収入	給付金	(内訳)	
				退会給付金	慶弔見舞金
751	12,997人	1,822	1,671	1,665	6

イ 資産の状況

(ア) 資産運用内訳

(単位：百万円)

		国内		外国		その他 資産	短期 資産	普通 預金	計
		債券	株式	債券	株式				
三菱 UFJ 信託 銀行	指定単独運用・ 包括信託	2,120 (29.0%)	1,133 (15.5%)	1,952 (26.7%)	892 (12.2%)	629 (8.6%)	592 (8.1%)	-	7,318 (100.0%)
	特定単独運用・ 包括信託	-	-	-	-	-	109	-	109
	指定単独運用・ 金銭信託以外 の金銭の信託	3,583 (42.6%)	1,897 (22.6%)	1,005 (12.0%)	1,918 (22.8%)	-	-	-	8,403 (100.0%)
岩手銀行ほか		-	-	-	-	-	-	2,210	2,210
合計		5,703	3,030	2,957	2,810	629	701	2,210	18,040

(イ) 資産運用の増減内訳

(単位：百万円)

信託区分	前期末残高 (A)	期中追加額 (B)	期末時価残高 (C)	期中評価損益 (C)-(A+B)
指定単独運用・包括信託	6,746	0	7,318	572
特定単独運用・包括信託	109	0	109	0
指定単独運用・金銭信託以外 の金銭の信託	7,179	0	8,403	1,224
合計	14,034	0	15,830	1,796

※期末時価残高に未収収益26百万円は含まない。

(ウ) 運用収益率 (信託報酬控除前)

(単位：百万円)

信託区分	実現利回り		総合利回り		修正総合利回り
	実現損益	利回り	総合損益	利回り	
指定単独運用・包括信託	272.4	4.05%	604.3	8.99%	8.93%
特定単独運用・包括信託	-0.1	-0.07%	-0.1	-0.07%	-0.07%
指定単独運用・金銭信託以外の金銭の信託	121.3	1.76%	1,231.3	17.89%	17.16%

※信託報酬は 30.5 百万円

(エ) これまでの運用実績 (修正総合利回り・信託報酬控除前)

(年率)

年度	R1	R2	R3	R4	R5
指定単独運用・包括信託	0.12%	6.79%	2.19%	-4.14%	8.93%
特定単独運用・包括信託	1.47%	1.83%	1.00%	-0.06%	-0.07%
指定単独運用・金銭信託以外の金銭の信託	—	—	4.42%	-0.15%	17.16%

ウ 財政状況

(単位：百万円)

年度	R1	R2	R3	R4	R5
責任準備金 A	19,759	20,232	20,956	21,584	21,922
積立金 B	14,098	15,192	16,116	16,150	18,077
差 額 B-A	△5,661	△5,040	△4,840	△5,434	△3,845
責任準備金率 B÷A	71.35%	75.09%	76.90%	74.82%	82.46%

※責任準備金率：将来の給付のため現時点で保有しなければならない積立金に対する積立率

積立金には、未収会費 37.2 百万円を含む

エ 積立水準回復計画

(ア) 会費の引上げ

- ・会費及び事業主負担額を現行の 1000 分の 50 から 1000 分の 57.5 に引上げ (平成 27 年 7 月 1 日から実施)

(イ) 給付事業の見直し

- ・慶弔見舞金のうち、死亡弔慰金の本人給付額を減額し、配偶者死亡の場合の給付を廃止 (平成 27 年 4 月 1 日から実施)
- ・健康管理助成金及び生活融資金事業を廃止 (平成 28 年 3 月 31 日をもって廃止)

(ウ) 資産運用の経費の節減

- ・資産運用リスクをできる限り回避し、目標運用利回り 3%の達成と、運営事務費 (人件費、事務諸費) の節減に引き続き努める

(エ) 計画の期間

- ・平成 27 年度から 35 年間

(オ) 定期検証の実施

- ・毎年度末の責任準備金率と「金融機関による収支予測計算の結果」の積立比率を比較のうえ定期検証を実施

(カ) 計画の変更

- ・計画実施後 3 年毎に定期検証時点での責任準備金率が「金融機関による収支予測計算の結果」の当該年度の【積立比率】を 0.1 ポイント以上下回った場合は、その翌年度の 7 月以降の会費は 1000 分の 57.5 から 1000 分の 60 に引上げ

② 福利厚生センター受託事業 [総務部]

ア 未加入及び新規加入事業所へ事業 PR の実施

本会会員施設約 1,000 か所にパンフレットを送付し加入勧奨の実施と、いわて福祉だより (パー

トナー) に事業案内を掲載するなどしてPRを図った。

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
会員数(人)	4,005	3,942	3,759	3,783	3,801

イ 福利厚生センター企画情報会議の実施

期日、会場：5月25日(ふれあいランド岩手)、3月(書面開催)

内容：加入法人・事業所の施設長、職員等による企画・情報委員8人、福利厚生推進員5人にて魅力ある会員交流事業の企画協議、令和6年度会員交流事業等について意見交換

ウ 福利厚生センター会員交流事業の実施

事業内容	参加者数
プロ野球日帰り観戦バスツアー 東北楽天ゴールデンイーグルス VS 北海道日本ハムファイターズ (9月23日)	30人
北海道新幹線で行く 自由気ままに函館1泊2日 (10月14日～15日)	35人
おもてなしのお宿で温泉&和食料理を満喫 (1月26日～2月3日)	55人
手ぶらで日帰り温泉と旬の味覚を楽しむ in 八幡平ハイソ (10月29日)	14人
「鉄板焼きでいただく旬の魚介と和牛ステーキ」グルメ交流会 in 盛岡 (12月2日)	50人
ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング「ジョバンニ」グルメ交流会 in 盛岡	47人
宮大工建築と源泉掛け流しの湯宿山の神温泉優香苑 ソウェルクラブ会員様用日帰り会食 (10月7日～1月31日)	61人
グルメ交流会 in 北上「ソウェルクラブ会員様特別コース！本格鉄板焼きでいただく魚介と特選牛ステーキ」(10月1日～11月30日)	52人
県南ブランド牛購入助成 ※前沢牛オガタ・門崎熟成肉格之進・ささ忠 (11月上旬～3月31日)	180人
季節の花畑とオーガニックビュッフェを楽しむ自然満喫プラン (10月22日)	36人
日本料理店「和の膳みや川」～地元でも大人気店の豪華和食コースを「自分時間」で楽しもう!! (12月1日～1月31日)	81人
新春企画「三陸四季湯彩ますと乃湯」～回数券 11枚セット～ソウェルクラブ会員様限定「だいたい半額」購入助成 (1月15日～1年間)	40人
本格的なイタリア料理店『Ristorante KATUYAMA』～シェフおまかせのスペシャルなフルコース料理で至福のひと時を!! (1月6日～2月25日)	52人
お楽しみグルメ交流会 岩泉短角牛・冷麺を味わう in ぐうぐう亭 (3月9日)	27人
岩手県内日帰り温泉入浴券購入助成事業 (10月1日～3月31日)	100人
映画鑑賞割引事業 (8月1日～12月31日)	442人
スキー&スノーボードリフト券購入助成事業 (シーズン開始～終了)	107人
メンタルヘルス講習会 (7月24日)	20人

4 社会福祉事業経営の支援

(1) 社会福祉事業経営の支援

① 障がい者就労・社会参加支援事業 [福祉経営支援部]

(ア) 農林水産業者等と事業所の役務等の業務受注に向けたマッチング支援

a 事業所と農林水産業者等とのマッチング支援

(検討中、紹介のみ、不成立を除く)

種別	成立案件数
農・水・林福連携	9件
役務請負	171件
商品開発・食品加工	2件
商品取引・イベント	51件
合計	233件

※マッチング実事業所数 390 事業所 (延べ)

- b 事業所の商品や役務の調査及びデータベース化
障がい者就労支援事業所を訪問し、保有する資機材等の設備、受注している作業等を調査
新規訪問事業所 47 事業所、再訪問事業所 7 事業所
- c a の取組状況及びb で整理した情報の発信
企業等からの作業依頼があった際、把握した情報を基にマッチング又は受託可能な事業所の
情報提供を実施。
なお、情報発信については、岩手県と協議しながら発注先に必要な情報を網羅しているかを
確認しながら、発信する情報内容及び発信方法を検討していく。

(イ) 普及啓発及び販路拡大支援

- a 事業所製品の周知及び販売会の開催 4 回
7 月 29 日 ふれあいマーケット in チャレンジいわてアビリンピック
9 月 15～17 日 福祉バンク大市 in 宮古・マリンコープ DORA
11 月 16 日 第 76 回岩手県福祉大会
12 月 15 日 働く障がい者応援フェア
- b 農福連携マルシェ 2 回
8 月 8 日 農福マルシェ in ふれあいランド岩手
9 月 3 日 農福マルシェ in ふれあいランド祭 2023

(ウ) 事業所向け研修会等

- a 農林水産業者等が障がいや障がい者を理解するための研修会の開催
開催回数 8 回、参加者 138 人
- b 事業所職員が農林水産業等を理解する施設職員向けセミナーの開催
開催回数 10 回、参加者 延べ 24 事業所 45 人
- c 特別支援学校等での出前講座・体験学習・説明会
実施回数 12 回、実施校数 12 校（分園 1 含む）、参加者数 211 人

(エ) その他、事業に必要な調査、課題把握及び事業実施の効果と検証

- (ア) ～ (ウ) を実施するために必要な調査、課題把握及び事業実施の効果と検証
農福連携の課題把握、検証のための会議への参加及び訪問活動
下記のとおり検証会議や同行、打ち合わせを通じ課題を把握するとともに、本会コーディネーターによる助言、関係調整など、マッチングの新規成立及び継続支援を行った。
 - ・農・水・福連携に係る施設訪問、打合せ、会議 16 回
 - ・役務請負（商品開発・食品加工以外）に係る施設訪問、打合せ 224 回
 - ・商品開発・食品加工に係る施設訪問、打合せ 5 回
 - ・商品取引・イベントに係る施設訪問、打合せ 56 回

② 共同受注窓口事業 [福祉経営支援部]

取扱売上高 31,014,189 円

ア 令和 6 年 3 月末の加入事業所 108 事業所（重複契約あり）

販売契約 61 事業所

役務・請負契約 94 事業所

イ 商品販売売上総額（常設店舗売上） 15,677,046 円

主な販売先：イオンスーパーセンター（株）、イオン東北（株）、岩手県産（株）、岩手空港ターミナルビル（株）、岩手県自動車整備商工組合、ゆこたんの森の他、県内外の官公庁、企業、福祉事業所等

ウ 日本セルフセンター福祉施設向け商品販売売上総額 207,615 円

エ 役務・請負委託業務の受注 受注総額 14,853,803 円

- (ア) 役務・請負委託業務の受注
官公庁、企業、本会種別協議会を中心に、166 業務 13,943,678 円を受注
- (イ) 農業に関する作業（農福連携）業務の受注
委託業者への事業所紹介
- オ 商品取引（県内外の企業、福祉事業所との取引含む）・イベントでの出店販売
36 件 売上 910,125 円
- カ ホームページを活用した加入事業所の活動紹介及び商品情報の発信
いわてはーとふる図鑑セレクトショップホームページ（共同受注センターホームページ）に会員
事業所製品情報を掲載
掲載情報：食品、飲料、雑貨、ギフト商品
- キ マッチング以外の案件による売上
3 件 483,340 円

(2) 適正なサービス評価の実施

① 福祉サービス第三者評価事業 [\[福祉経営支援部\]](#)

岩手県福祉サービス第三者評価機関として、県内の福祉施設の評価を実施したほか、評価者養成研修会等を実施した。

ア 第三者評価の実施

11 事業所

高齢者施設 0 か所、障がい児（者）施設 3 か所、社会的養護関係施設 7 か所、保育所 0 か所、救護施設 1 か所

イ 会議の開催

事前合議、合議、決定委員会 各 11 回開催

ウ 研修会の開催

(ア) 第三者評価調査者養成研修会（岩手県知事承認研修）

期日、会場、参加者：8月4日、7日、10月26日、27日、28日 盛岡市中央卸売市場ほか
5人

内容：新型コロナの影響で施設訪問による実習の代わりに、模擬ヒアリングや演習を実施し、
5人の評価調査者を養成した。

(イ) 福祉施設の自己評価・第三者評価研修会

期日、会場、参加者：8月4日、7日、盛岡市中央卸売市場、15事業所、20人

(ウ) 評価調査者スキルアップ研修会（評価調査者の会との共催研修）

期日、会場、参加者：7月9日、9月25日、両日ともふれあいランド岩手、22人及び18人

(エ) 社会的養護等施設評価調査者の養成研修

養成研修：受講なし

(オ) 評価調査者指導者の養成研修

養成研修：8月（集合型）、2人

5 多様な組織等との連携協働

(1) 種別協議会・部会活動を通じた福祉サービス向上の取組とサービス利用者の福祉増進

① 市町村社会福祉協議会部会事業 [\[地域福祉企画部\]](#) (2～3ページ参照)

② 種別協議会活動推進事業 [福祉経営支援部]

ア 社会福祉法人経営者協議会

(ア) 会議の開催

- a 総会
期日、会場：3月6日、マリオス
- b 幹事会
期日、会場：4月14日、ふれあいランド岩手
5月24日、岩手県水産会館
12月21日、アートホテル盛岡
期日、会場：2月14日、トーサイクラシックホール岩手
- c 正副会長会議
期日、会場：2月14日、トーサイクラシックホール岩手
- d 地域公益活動専門部会会議
期日、会場：4月14日、ふれあいランド岩手
5月24日、岩手県水産会館
12月21日、アートホテル盛岡
2月14日、トーサイクラシックホール岩手
- e IWATE・あんしんサポート事業連絡会議
期日、会場：5月24日、岩手県水産会館

(イ) 研修会の開催

- a 中長期経営計画策定セミナー
期日、会場、参加者：1月18日、アイーナ、34人
- b 地域福祉推進トップセミナー
(岩手県社協市町村社会福祉協議会部会との共催)
期日、会場、参加者：2月8日、ホテルニューカーリーナ、39人
- c 都道府県経営協セミナー（前期）
(全国経営協との共催)
期日、会場、参加者：8月30日、ホテルメトロポリタン盛岡、60人
- d 都道府県経営協セミナー（後期）
(全国経営協との共催)
期日、会場、参加者：1月24日、ホテルメトロポリタン盛岡、65人
- e あんしんサポート相談員養成研修
(第1回)
期日、会場、参加者：6月23日、岩手県水産会館、19人
(第2回)
期日、会場、参加者：1月12日、マリオス、23人
- f 生活困窮者支援研修会（あんしんサポート相談員スキルアップ研修会）
期日、会場、参加者：1月17日、岩手県水産会館、32人

(ウ) IWATE 子ども夢基金事業の実施（青年会事業：岩手県民共済の助成により実施）

- a IWATE 子ども夢基金事業
内容、助成人数：生活困窮世帯の子どもが対象、助成16人（応募16人）

(エ) 関係機関団体との連携

- a 北海道・東北ブロック協議会会長会議
期日：4月、7月、8月、10月、11月、12月、1月、2月
- b 全国経営協ブロック会議（北海道・東北ブロック）

- 期日、会場：5月8日、集合・オンライン開催
- c 第42回全国社会福祉法人経営者大会（兵庫県大会）
期日、会場：9月21日・22日、神戸市
- (オ) その他
会長表彰 16法人16人を表彰

- イ 高齢者福祉協議会
 - (ア) 会議の開催
 - a 総会
期日、会場：3月15日、ふれあいランド岩手
 - b 幹事会
期日、会場：4月21日、ふれあいランド岩手
5月26日、岩手県水産会館
12月21日、アートホテル盛岡
 - c 正副会長会議
期日、会場：9月14日、トーサイクラシックホール岩手
 - (イ) 研修会の開催
 - a 令和5年度東北ブロック老人福祉施設研究会
期日：9月26日～10月31日、オンデマンド配信
 - b 令和5年度いわて福祉施設職員研修会
期日、会場、参加者：11月28日、アートホテル盛岡、45人
 - c 令和5年度岩手介護施設等合同入職式
期日、会場、参加者：5月19日、アイーナ、72人
 - (ウ) 介護の質の向上に対する支援
 - a 介護員養成研修事業費助成事業 2施設 20万円助成
 - b 介護助手養成研修事業費助成事業 1施設 43,311円助成
 - (エ) 委員会の開催
 - a 制度政策委員会
期日、会場：7月19日、岩手県水産会館
9月14日、トーサイクラシックホール岩手
 - b 調査研究委員会
未開催
 - c 総務委員会
期日、会場：7月19日、岩手県水産会館
10月31日、ふれあいランド岩手
 - d 21世紀委員会
期日、会場：6月2日、アートホテル盛岡
9月27日、岩手県水産会館
2月16日、岩手県水産会館
 - (オ) 部会の開催
 - a 特別養護老人ホーム部会
期日、会場：9月14日、トーサイクラシックホール岩手
 - b 養護老人ホーム部会
期日、会場：8月31日、ふれあいランド岩手
11月9日、ふれあいランド岩手

1月31日、マリオス

c 経費老人ホーム・ケアハウス部会

未開催

d 老人デイサービスセンター部会

老人デイサービスセンターの事業運営に関するアンケート2023の実施

e 老人福祉センター部会

未開催

f 認知症高齢者グループホーム等部会

未開催

(カ) 関係機関・団体との連携

岩手県保健福祉部長寿社会課との情報・意見交換会

期日、会場：9月14日、トーサイクラシックホール岩手

(キ) 高齢者介護施設及び障がい者支援施設における原油価格・物価高騰への対応に係る緊急要望(障がい協と合同で実施)

期日、会場：10月21日、岩手県庁

ウ 障がい者福祉協議会

(ア) 会議の開催

a 総会

期日、会場：令和6年3月12日、ふれあいランド岩手

b 幹事会

期日、会場：4月13日、ふれあいランド岩手

5月15日、アイーナ

8月9日、アートホテル盛岡

2月19日、ふれあいランド岩手

c 正副会長会議

期日、会場：7月21日、ふれあいランド岩手

(イ) 岩手県保健福祉部障がい保健福祉課と障がい者福祉協議会との意見交換会

期日、会場：8月9日、アートホテル盛岡

内容：意見交換

岩手県社会福祉協議会障がい者福祉協議会提出意見交換テーマ

・今後の障がい福祉について

・グループホームに関すること

・高齢障がい者支援に関すること

・福祉人材・育成に関すること

意見・要望書提出

・障がい福祉サービスの充実に向けた会員事業所・施設からの意見・要望の提出

(ウ) 「未曾有の物価高騰、全産業平均との賃金格差拡大 利用者・地域社会を守り抜くための緊急要望」要望書を財務大臣及び県知事へ提出(県社協会長、県社協経営協・高齢協・児童協と合同で実施)

期日・会場：10月21日、鈴木俊一事務所

9月14日、岩手県庁

(エ) 研修会の開催

a 虐待防止・権利擁護研修会

期日、会場、参加者：5月17日、アピオ会議棟、134人

- 内容：講義「虐待防止及び身体拘束に関する基礎理解」
- b 精神障がい者支援研修会の開催
期日、会場、参加者：11月7日、ふれあいランド岩手及びオンライン、16人
- c グループホームの世話人を対象とした研修会の開催
中央ブロック
期日、会場、参加者：10月26日、雫石町中央公民館、100人
県南ブロック
期日、会場、参加者：1月13日、花巻市文化会館、117人
- d 課題対応研修
期日、会場、参加者：12月18日、アイーナ、34人
内容：講義「栄養ケアマネジメントについて」
- (オ) 委員会、部会の開催
- a 研修委員会
期日、会場：5月15日、アイーナ
- b 調査研究委員会
期日、会場：5月15日、アイーナ
10月19日、ふれあいランド岩手
- c 社会就労部会
・社会就労部会会員事業所製品販売会（ふれあいランド祭ふれあいマルシェコーナー）
期日、会場：9月3日、ふれあいランド岩手
・岩手県社会福祉協議会共同受注センター等との協働（随時）
岩手県障がい者スポーツ大会に係る出店支援
- (オ) 調査事業
- a 令和5・6年度調査研究事業「障がい福祉サービス等事業所における人材確保・定着に関する調査」の実施
- b 経営協・高齢協・障がい協・児童協調査 燃料価格・物価高騰等に係る緊急アンケート
- (カ) 令和6年能登半島地震における対応
- a 岩手県災害派遣福祉チームの派遣
- b 義援金の送金
- エ 保育協議会
- (ア) 会議の開催
- a 総会
期日、会場：3月21日、ふれあいランド岩手
- b 常任委員会
期日、会場：4月20日、5月30日、11月29日、3月8日、ふれあいランド岩手ほか
- c 正副会長会議
期日、会場：4月20日、6月15日、ふれあいランド岩手ほか
- (イ) 研修会の開催
- a 岩手県保育研究大会
期日、会場、参加者：6月8日 オンライン（ふれあいランド岩手配信）、参加者延べ339人
内容：分科会発表、ブロック大会代表発表者選考会
- b 実技講習会
期日、会場、参加者：7月24日、9月20日、ふれあいランド岩手ほか、24人
- c 岩手県指定幼児教育分野保育士等キャリアアップ研修

(花巻ブロック保育協、岩手県社協・保育協主催)

期日、会場、修了者：6月26日、7月20日、8月31日、岩手県立総合教育センターほか、修了40人（一部修了者含む）

(久慈ブロック保育協、岩手県社協・保育協主催)

期日、会場、修了者：7月15日、8月5日、8月19日、長福寺、修了24人（一部修了者含む）

d 「令和6年度保育研究大会」研究テーマ研修会

期日、会場、参加者：12月12日、ふれあいランド岩手及びオンライン、178人

内容：発表原稿の作成及び発表の留意点についての講義、参考発表

e 岩手県保育指導者セミナー

期日、会場、参加者：3月21日、ふれあいランド岩手、42人

内容：「乳幼児期にこそ育みたい“からだ観”～施設で取り組むべき性教育のあり方～施設で取り組むべき性教育のあり方」

(ウ) 部会、委員会の開催

a 保育所長部会

期日、会場、参加者：11月2日、アイーナ及びオンライン、169人

内容：業務継続計画（BCP）及び安全計画作成のポイント

b 保育者部会

期日、会場、参加者：11月24日、アイーナ及びオンライン、175人

内容：発達障がいの園児の理解と保育者のかかわり

(エ) 令和6年能登半島地震における対応

保育三団体被災地支援募金への拠出

(オ) その他

a 北海道・東北ブロック保育協議会次世代リーダー研修会及び保育士会リーダーセミナー

※令和5年度は岩手県が担当県として開催。

期日、会場、参加者：2月1日～2日、ホテルニューカリーナ、95人

オ 児童福祉施設協議会

(ア) 会議の開催

a 幹事会

期日、会場：5月11日、12月12日、3月8日

ふれあいランド岩手、トーサイクラシックホール岩手（岩手県民会館）、盛岡市中央卸売市場

b 専門委員会

期日、会場：5月18日、7月7日、11月7日

ふれあいランド岩手（オンライン併用）

(イ) 会員情報ホームページの運営

ホームページによる施設情報の更新を行った。

(ウ) 県との意見情報交換会

期日、会場：5月11日、ふれあいランド岩手（第1回幹事会開催時に実施）

(エ) 研修会の開催

a 児童福祉施設職員研修会

期日、会場、参加者：9月20日、ふれあいランド岩手（WEBライブ配信）、21人

内容：職場内のコミュニケーションのありかたについての講義

b 施設間交流研修会

期日、会場、参加者：11月1日、みちのく・みどり学園、26人（11施設22人、里親4名）

内容：みちのく・みどり学園の実践発表、情報・意見交換

※ 児童福祉のしごと出前講座は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止

(オ) 研修参加への助成

研修助成事業として、2施設（児童家庭支援センター大洋、善友乳児院）に対し、計60,000円を助成した。

(カ) 社会養護、児童福祉施設への理解、関心を高めるための情報発信

インターネットを活用したPR方法として、専門委員会で協議し、パワーポイントデータに説明音声をあてた電子紙芝居を作成した。

(キ) 関係機関・団体との連携

令和5年度北海道・東北ブロック母子生活支援施設研究協議会の運営協力（社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団との連携）

期日、会場：3月12日～26日、ZOOMによるオンデマンド配信

(ク) その他

a 令和6年度予算要望の実施

期日、会場、出席者：8月21日、岩手県庁、県子ども子育て支援室長ほか2人、児童協会長ほか3人

b 物価高騰対策及び福祉従事者の処遇改善に関する要望活動（経営協・高齢協・障がい協・児童協の連名による）の実施

期日、会場、出席者：9月14日、岩手県庁、県保健福祉部長ほか5人、経営協・高齢協・障がい協・児童協役員3人

カ 児童館・放課後児童クラブ協議会

(ア) 会議の開催

a 総会

期日、会場：3月8日、ふれあいランド岩手

b 幹事会

期日、会場：5月17日、都南公民館
2月28日、都南公民館

c 正副会長会議

期日、会場：2月15日、ふれあいランド岩手

d 館長等委員会、児童厚生員・放課後児童指導員等委員会

期日、会場：5月17日、都南公民館
10月4日、都南公民館

内容：①委員長・副委員長の選任

②令和5年度の事業推進等について

・会員施設現況調査報告書の作成について

・岩手県保健福祉部子ども子育て支援室との情報・意見交換について

(イ) 研修会の開催

a 児童健全育成関係者レベルアップ研修会

<第1回> 期日、会場：7月14日、盛岡市中央卸売市場

内容、参加者：児童厚生二級認定科目「安全指導・安全管理」、40人
児童厚生二級認定科目「児童の発達理論」、41人

<第2回> 期日、会場：11月10日、ふれあいランド岩手

内容、参加者：児童厚生二級認定科目「地域福祉活動」、47人

b 児童館職員等研修会

期日、会場：11月30日、都南公民館

内容、参加者：

講義「発達障がい児等配慮を要する児童と保護者への理解・対応」、25人
演習「事例検討」、22人

c 実技研修会

<第1回>期日、会場：9月25日、ふれあいランド岩手

内容、参加者：児童厚生二級認定科目「表現活動」、36人

児童厚生二級認定科目「ゲーム・運動遊び」、31人

<第2回>期日、会場：10月19日、ふれあいランド岩手

内容、参加者：児童厚生二級認定科目「救急法」、46人

(ウ) 助成事業の実施

a 第18回全国児童館・児童クラブ大会参加助成

期日、会場：11月25日、全国7会場にて参集開催

内容：参加費3,000円及び旅費(20,000円を上限)の助成

助成金額：43,000円(参加費3,000円及び旅費20,000円×1名、旅費20,000円×1名)

b 各ブロック協議会活動助成

内容、助成金額：会員施設が所在する8ブロック、66,000円(1,000円×66か所)

(エ) いわて子どもあそび隊の活動

a いわて子どもの森主催「あそびにコンビニ」への参加(いわて子どもあそび隊)

→ 令和5年度は「あそびにコンビニ」の開催なし。

b 被災地児童館等への訪問活動

→ 被災地児童館等現地2か所からの申出により訪問活動を実施(大船渡市の子育て支援センター、放課後児童クラブ)。また、あそびのキットを2か所に提供(岩泉町社協、大船渡市のNPO法人)。

c 岩手県災害福祉広域支援推進機構への参画及び災害派遣福祉チーム員への登録の推進による災害支援における児童健全育成への協力

→ 令和6年3月現在、岩手県災害派遣福祉チーム員登録者1名、新規登録者なし。

(オ) 関係機関との連携・協働

会議名：岩手県保健福祉部子ども子育て支援室と岩手県児童館・放課後児童クラブ協議会との情報・意見交換会

期日、会場：11月22日、エスポワールいわて

内容、参集者：人材確保・育成に関する事、児童館等施設に関する事、岩手県保健福祉部子ども子育て支援室4名、当会幹事・専門委員7名、事務局2名

(カ) 調査活動

令和4年度実施「岩手県児童館・放課後児童クラブ協議会会員施設現況調査」の集計結果をもとに、調査報告書を作成し、会員施設及び岩手県保健福祉部子ども子育て支援室、各市町村児童福祉主管課に発行(令和6年3月)。

(2) 多様な組織等との連携協働の推進

① 事務受託団体支援事業

[総務部・地域福祉企画部・福祉経営支援部・福祉人材研修部]

ア 公益財団法人岩手県福祉基金

令和5年度事業計画に基づき35件、7,901千円の助成を行ったほか、企業等から12件1,844千円の寄付を基本財産に組み入れ、基本財産は1,144,050千円となった。

[助成の内訳]

助成区分	件数	金額 (千円)
1-① 社会福祉団体活動に対する助成	32 件	6,833
1-② 社会福祉団体活動に対する助成(特別助成事業)	1 件	468
2 社会福祉施設整備事業に関する助成	0 件	0
3 社会福祉従事者研修事業に対する助成	1 件	300
4 社会福祉の啓発及び顕彰事業に対する助成	1 件	300
計	35 件	7,901

イ 岩手県里親会

(ア) 会議の開催

a 理事会

<第1回> 期日、会場：5月16日、ふれあいランド岩手

<第2回> 期日、会場：3月25日、ふれあいランド岩手

b 監査

期日、会場：5月16日、ふれあいランド岩手

c 役員会

<第1回> 期日、会場：4月18日 ふれあいランド岩手

<第2回> 期日、会場：6月28日 ふれあいランド岩手

<第3回> 期日、会場：2月13日 ふれあいランド岩手

(イ) 岩手県里親大会の開催

期日、会場、参加者：10月29日、ふれあいランド岩手、130人

内容：表彰式典、講演、シンポジウム

(ウ) 未委託里親交流研修会

期日、会場、参加者：9月3日、児童養護施設「清光学園」、22人

内容：施設紹介、講義「児童養護施設の概要」、入所児童とのレクリエーション

(エ) 里親会交流研修会

期日、会場、参加者：12月9日、マリオス、38人

内容：講義「子どもファーストってなかに-養育の困難さと吟味する-」

(オ) 広報紙の発行

「里親いわて第48号」の発行(300部)(3月)

(カ) 表彰の実施

- ・全国里親大会表彰(1組2人)
- ・東北地区里親会連絡協議会表彰(6組11人)
- ・岩手県社会福祉大会長表彰(1組2人)
- ・岩手県知事感謝状(6組11人)
- ・岩手県里親会長表彰(3組5人)

(キ) 親族里親等支援事業(県委託事業)

a 里親サロン

期日、会場：5月～1月(全6回)、宮古市総合福祉センターほか
支援会員派遣人数：30人

延べ参加者数：20組29人

b 3地区合同交流研修会

期日、会場、参加者：8月26日、宮古市田老、16人

内容：「学ぶ防災 in 田老」

- c 地区交流会
 - 期日、会場：9月～12月（各地区1回）、魚河岸テラス（釜石市）ほか
 - 支援会員派遣人数：15人
 - 延べ参加者数：14人
- (ク) 里親制度普及啓発キャンペーン
 - 期日、会場：10月4日、イオンモール盛岡南
 - 内容：「里親の日」にあたり、NPO法人日本子ども支援協会が実施する「全国一斉里親制度啓発キャンペーン」のチラシを配布
- ウ 岩手県地域包括・在宅介護支援センター協議会
 - (ア) 会議の開催
 - a 総会
 - 臨時総会（書面議決） 4月
 - 定期総会：3月18日 ふれあいランド岩手
 - b 理事会
 - 期日、会場：4月17日、5月22日、3月1日 ふれあいランド岩手及びオンライン開催
 - c 監査
 - 期日、会場：5月22日、ふれあいランド岩手
 - d 調査研究委員会
 - 期日、会場：9月7日、11月6日、2月5日 ふれあいランド岩手
 - (イ) 岩手県地域包括・在宅介護支援センターフォーラムの開催
 - 期日、会場、参加者：6月27日、アイーナ、参集52人及びオンライン115人
 - 内容：行政説明「虐待・権利擁護の実情について」
 - パネルディスカッション
 - 「高齢者虐待・権利侵害を生まない環境づくりに向けた取り組みについて」
 - (ウ) その他
 - a 広報活動
 - ・岩手県地域包括・在宅介護支援センター協議会ホームページを活用した情報提供
 - ・広報発行「広報つながり vol.30」 高齢協合同発行（PDFによるメール配信）
 - b 地区協議会活動の推進
 - 4つの地区協議会の活動に対し活動費140,000円を交付
 - c 高齢者総合支援センターとの情報交換会
 - 期日、会場：7月25日 ふれあいランド岩手
- エ 岩手県知的障害者福祉協会
 - (ア) 会議の開催（岩手県知的障害児者生活サポート協会と併催）
 - a 総会
 - 期日、会場：4月27日、アイーナ
 - b 監査
 - 期日、会場：6月9日、ふれあいランド岩手
 - c 理事会（岩手県知的障害児者生活サポート協会理事会と併催）
 - 期日・会場 第1回 4月27日、アイーナ
 - 第2回 6月9日、ふれあいランド岩手
 - 第3回 3月14日、ふれあいランド岩手
 - (イ) 研修会等

- a 新任職員研修会
 - 期日、会場、参加者：10月10日、11日、アートホテル盛岡、46人
 - 内容：講義「知的障がい者支援の現場で働くこと」
 - 講話「新任職員研修から今日までの日々を振り返って」
 - チーム対抗レクリエーション、グループワーク「意思決定支援」
 - b 岩手県知的障害者施設職員研修大会
 - 期日、会場、参加者：12月26日、ふれあいランド岩手、40人
 - 内容 表彰式：福祉事業功労表彰表彰（4名）、輪投げチャレンジ上位施設表彰（5施設）
 - 講演「命を守る一意思決定支援の実際」
 - 大会宣言採択
 - c 中堅職員研修会
 - 期日、会場、参加者：1月23日、アートホテル盛岡、35人
 - 内容：講義「意思決定支援（実践編）」
 - d スポーツチャレンジ企画「利用者・会員施設対抗 輪投げチャレンジ」
 - 期日、会場、参加者：11月1日～30日、各施設、施設数20、参加者数626人、団体賞5、個人賞68（入賞12、飛び賞・ブービー賞56）
- (ウ) 部会・委員会活動
- a 部会及び支援スタッフ委員会連絡会議
 - 期日、会場、参加者：4月27日、アイーナ、6部会26人、支援スタッフ委員20人
 - b 各部会の開催
 - 地域支援部会
 - 期日、会場、参加者：12月15日、ふれあいランド岩手、21人
 - 内容：中央情勢報告、政策委員会実施アンケート結果の報告、情報交換会「人材確保に向けた取り組みについて」
 - 児童発達支援部会
 - 期日、会場：1月23日、岩手県水産会館
 - 出席者：部会長 小綿 義道
 - 内容：
 - ・次期障がい者プランについて
 - ・児童発達支援センター設置促進に向けた取組について
 - ・障害児入所施設に入所する障害児等の新たな移行調整の枠組みの構築について
 - 生産活動・就労支援部会
 - 期日、会場、参加者：2月15日、ふれあいランド岩手、15名
 - 内容：中央情勢報告、情報交換会「就労系事業所の現状と今後の取り組み」
 - c 委員会活動
 - 政策委員会
 - 共同生活援助事業所（地域支援部会所属事業所含む）を対象としたアンケートの実施
 - アンケート実施期間 6月20日～7月14日／回答数 21事業所
 - 研修・事業・広報委員会
 - 期日、会場：第1回（支援スタッフ委員会と合同開催）、7月7日、ふれあいランド岩手
 - 第2回 11月21日、ふれあいランド岩手
 - 支援スタッフ委員会
 - 期日、会場：第1回 4月27日、アイーナ
 - 第2回 5月30日、ふれあいランド岩手
 - 第3回 6月15日、みたけの杜
 - 第4回 7月25日、となんカナン

第5回 8月25日、ふれあいランド岩手

第6回 9月29日、都南公民館

(エ) 組織力強化(=新規会員獲得)に向けた活動

R6.3.1 会員施設数 98施設(参考:令和5年3月31日現在95施設)

ホームページの活用を含めた情報の発信

(オ) 関係団体への要望、提言

・「令和5年度障がい者関係団体との意見交換会」(県障がい保健福祉課主催)

期日、会場:10月2日、ふれあいランド岩手(鎌田会長)

(カ) 調査・研究活動他

・各種別部会、政策委員会による事業実態調査

政策委員会アンケート調査(7月)[再掲]

・虐待防止・人権擁護に関する試行的アンケート

職員研修大会参加者アンケート(12月)

・助成

東北フォーラム2023inみやぎ(11月30日、12月1日)における「物産展」出店事業所への助成

(キ) 大規模災害発生時等における会員施設への支援と発災に備えた連携体制の構築【重点項目3】

災害支援基金運営要綱に基づく積立の実施

(ク) 表彰事業

・岩手県知的障害者福祉協会表彰(職員研修大会席上で表彰)

期日・会場:令和5年12月26日、ふれあいランド岩手 福祉事業功労表彰 4名

・日本知的障害者福祉協会 知的障害者福祉事業功労者功労者表彰の進達 表彰決定 16名

オ 東北地区社会就労センター協議会

(ア) 会議の開催

a 総会

期日、会場:6月15日、ホテルメトロポリタン秋田

b 監査

期日、会場:5月24日、ふれあいランド岩手及びオンライン

c 役員会

期日、会場:4月25日、6月5日、9月29日、3月15日(全てオンライン)

(イ) 研修会等の開催

a 施設長連絡会議

第1回 期日、会場、参加者:9月29日、仙台ガーデンパレス、15人

内容:講演「次期報酬改定に向けた動向と全国セルフ協の方針」

グループ討議

第2回 期日、会場、参加者:1月25日・26日、アートホテル盛岡、29人

内容:話題提供「障がい者福祉施策に関する課題提起」

話題提供「身寄りのない利用者の対応の現状と課題」

b 職員研修会

・研修委員会

第1回 期日、会場:9月11日、オンライン

第2回 期日、会場:10月3日、オンライン

・職員研修会

期日、会場、参加者:12月13日~14日、ホテル福島グリーンパレス、42人

内容:講演「支援と工賃向上の両立に向けて~変化に合わせる変化対応力とは~」

グループ討議「どうする就労支援・障がい者支援」

講演・ワークショップ「工賃・賃金の向上に向けた支援力の向上」

(ウ) 令和6年能登半島地震の対応

義援金の拠出

カ 全国社会福祉法人経営者協議会 北海道・東北ブロック協議会

(ア) 会議の開催

a 会長会議

期日、会場：第1回 4月18日、オンライン

第2回 7月18日、TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口

第3回 8月22日、TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口

第4回 10月17日、TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口

第5回 11月21日、TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口

第6回 12月12日、TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口

第7回 1月23日、TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口

第8回 2月15日、TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口

b セミナー・研修会

期日、会場：10月5日、6日、ホテル福島グリーンパレス

参集者：147名

キ 一般社団法人岩手県介護福祉士会

(ア) 会務運営

a 定時総会

期日、会場、参加者：6月4日、ふれあいランド岩手（オンライン併用）、
22人（委任状168通）

内容：令和4年度事業報告・決算、令和5年度事業計画・予算

b 監査

期日、会場：5月12日、ふれあいランド岩手

c 理事会

期日、会場：＜第1回＞ 6月4日、ふれあいランド岩手（オンライン併用）

＜第2回＞ 8月28日、オンライン開催

＜第3回＞ 12月20日、オンライン開催

＜第4回＞ 3月26日、オンライン開催

d 正副会長会議

期日、会場：＜第1回＞ 5月22日、オンライン開催

＜第2回＞ 5月29日、オンライン開催

＜第3回＞ 8月21日、オンライン開催

＜第4回＞ 12月12日、オンライン開催

＜第5回＞ 3月15日、オンライン開催

(イ) 研修会等の実施

a 岩手県社会福祉士会との合同研修会

期日、会場、参加者：6月4日、ふれあいランド岩手（オンライン併用）、21人

b 北東北3県介護福祉士会合同ファーストステップ研修

期日、会場、参加者：7月16日～3月9日 [全15科目]

オンライン開催、17人（うち岩手県1人）

- c 介護福祉士基本研修会
期日、会場、参加者：8月17日、18日、9月21日、22日、ふれあいランド岩手、5人
- d 介護福祉士実習指導者講習会
期日、会場、参加者：9月7日、8日、10月12日、13日、ふれあいランド岩手、40人
- e VR認知症体験会
期日、会場、参加者：9月9日、ふれあいランド岩手、72人
- f 災害ボランティア・現任者研修会
期日、会場、参加者：11月4日、釜石情報交流センター（オンライン併用）、28人
- g 介護福祉士国家試験対策全国一斉擬試験
期日、会場、参加者：11月18日、ふれあいランド岩手、23人
- h 介護職種の技能実習指導員講習会
期日、会場、参加者：1月15日、ふれあいランド岩手、32人
- i 日本アドバンス・ケア・プランニング研究会年次大会（Zoom ウェビナー配信協力）
期日、会場、参加者：9月2日、岩手保健医療大学、約500人
- j 「介護の日フェスタ」の開催
期日、会場、来場者：11月11日、イオンモール盛岡南、約500人
内容：介護相談・おしごと相談、福祉用具・介護機器展示、VR認知症体験、クリアファイル配布、わなげ、介助犬

ク 岩手県介護支援専門員協会

(ア) 会務運営

- a 定時総会
期日、会場、参加者：6月17日、ふれあいランド岩手（オンライン併用）、117人、委任状1,270通
内容：令和4年度事業報告・決算、令和5年度事業計画・予算
- b 監査
期日、会場：5月18日、ふれあいランド岩手
- c 理事会
期日、会場：<第1回> 6月17日、ふれあいランド岩手（オンライン併用）
<第2回> 3月30日、岩手県産業会館（オンライン併用）
- d 役員会
期日、会場：<第1回> 4月28日、オンライン開催
<第2回> 12月23日、アイーナ（オンライン併用）
<第3回> 1月16日、オンライン開催
- e 正副会長会議
期日、会場：<第1回> 4月11日、ふれあいランド岩手
<第2回> 11月17日、ふれあいランド岩手
<第3回> 1月18日、リッチモンドホテル盛岡駅前

(イ) 研修会の実施

- a 定例研修会
期日、会場、参加者：<第1回> 6月17日、ふれあいランド岩手（オンライン併用）、220人
<第2回> 12月23日、アイーナ、148人
<第3回> 3月23日、324人
県内5会場 県央会場：岩手県立大学
県北会場：二戸広域観光物産センターなにゃーと

県南会場 : 奥州市江刺総合支所
 沿岸北部会場 : 宮古市地域創生センターうみマチひろば
 沿岸南部会場 : 大船渡市総合福祉センター

- b 在宅医療人材育成研修事業 (3会場)
- 期日、会場、参加者 : <二戸会場> 12月12日、かるまい文化交流センター宇漢米館、64人
 <花巻会場> 12月14日、花巻市文化会館(ワライ併用)、49人
 <気仙会場> 1月20日、大船渡市総合福祉センター、46人

ケ 岩手県ホームヘルパー協議会

(ア) 会務運営

- a 総会
方法、結果 : 書面議決、提出45人(賛45人)
- b 監査
期日、会場 : 5月9日、ふれあいランド岩手、5月10日、オンライン
- c 理事会
期日、会場 : <第1回> 5月16日、ふれあいランド岩手
<第2回> 3月22日、ふれあいランド岩手

(イ) 研修会の実施

- a ホームヘルプセミナー
(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)
- b 現任者研修会
 <第1回> 期日、会場 : 7月6日、ふれあいランド岩手、参加者22人
 テーマ : ①訪問介護における排泄ケア
 ②訪問介護員の負担軽減に役立つ最新福祉用具の活用
 <第2回> 期日 : 1月16日(オンライン)、25事業所参加
 テーマ : ①精神障がい者に対する訪問介護員(ヘルパー)の関わり方の基本
 ②在宅で暮らす利用者の自立支援において訪問介護員が心掛けるポイント

6 指定管理施設の管理運営

(1) ふれあいランド岩手の管理運営 [ふれあいランド岩手]

① 施設の利用状況

令和5年度の施設利用者数は、199,159人と年間目標を下回った。平成6年の開館からの累計利用者数は6,132,264人となった。

ア 施設区分別利用状況

(単位 : 人)

区分	文化施設	スポーツ施設	合計
本年度	43,365	155,794	199,159
開館からの累計	1,586,715	4,545,549	6,132,264

イ 利用者区分別利用状況

(単位 : 人)

区分	障がい者	介護者	高齢者	学生等	一般	ボランティア	幼児
本年度	15,719	3,474	85,673	28,750	54,978	1,019	9,546
累計	553,355	96,219	1,726,633	1,046,340	2,468,864	53,480	187,373

② 教室等の開催状況

障がい者や高齢者等を中心としたスポーツ教室、文化教室を開催した。

ア スポーツ教室

障がい者の身体機能の向上を目的とした「リハビリ&水中歩行教室」など9のスポーツ教室を延べ203回開催し、3,926人が参加した。

イ 文化教室

障がい者や高齢者等、受講者間の交流を目的とした「ものづくり教室」など5の文化教室を延べ25回開催し、280人が参加した。

③ 各種イベントの開催状況

ふれあいランド岩手の利用者、地域住民との交流を促進するため、利用団体などの協力を得て、各種イベントを開催した。

イベント名	開催日	参加者数
ちびっこキャンペーン2023	4月29日～8月30日	延べ952人
ふれあい体験2023	4月29日～8月11日	延べ1,044人
ふれあいランド祭2023	9月3日	延べ17,407人
健康測定会	9月23日	67人
ふれあいスポーツフォーラム2023	11月11日	44人
さわやか交流水泳記録会	10月21日	46人
さわやか交流卓球大会	12月9日	26人
体組成分測定会	3月12日	109人

④ 各種支援事業等の実施状況

地域と連携し、障がい者や高齢者への運動指導に携わる指導者に指導のノウハウを伝えるとともに、障がい者や高齢者等の利用者を対象として運動指導を実施した。また、スポーツ教室及び文化教室の修了者などによって結成された自主サークルの育成及び活動の支援に努めた。

・いわてスポーツネットワーク事業	2回	参加者	11人
・リフレッシュ教室	9回	参加者	129人
来館指導	38回	参加者	1,276人
訪問指導	11回	参加者	140人
・スポーツ支援事業	96回	参加者	1,345人
来館指導	616回	参加者	746人
訪問指導	6回	参加者	274人
・サポートタイム			
個別指導			
・福祉見学・福祉体験等支援事業			

⑤ ボランティアの養成等

「初心者手話教室」(10回開催、120人参加)や「ワンポイント手話教室」(4回開催、46人参加)を開催するとともに、各種ボランティア団体の活動の場を提供するなど、その育成・支援に努めた。

⑥ 利用者・団体等のニーズの把握

利用者等のニーズを把握し、施設運営等に資するため、施設内に「意見・提言ボックス」を設置するとともに、施設利用に関するアンケート調査を実施した。

7 県社協の活動基盤の強化

(1) 県社協財政基盤の適正化 [総務部]

① 自主財源の確保

企業、団体及び病院（1,179 か所）に対し協賛金の協力を呼びかけるなどして自主財源の確保に努めた。

・入金実績：334 件 3,745,876 円（前年度 333 件 3,664,000 円）

② 経費の削減

見積り合わせの徹底などによる事務諸費（消耗品費、コピー機使用料、光熱水費、車輛燃料費、通信運搬費、PC等事務機器賃借料等）の削減に努めたが、生活福祉資金コロナ特例貸付等の債権管理業務に係る経費が増えたことにより、事務諸費総額は大幅な増となった。

・事務諸費総額 47,625 千円（対前年度 6,629 千円 16%増）

(2) 組織強化のための取組の推進 [総務部]

① 会計監査人の設置

会計監査人を設置して期中監査（年5回）を受けるなどしてガバナンスの強化に努めた。

② 税理士等への業務委託

税理士や社会保険労務士等の専門家への業務委託を検討するとともに、インボイスへの対応準備では適宜相談を行った。

③ 職員の育成

職員研修計画に基づき職員研修を実施し職員の資質向上に努めた。

（新入職員研修：2人、全社協会計実務講座：2人、福祉ビジョン21世紀セミナー：6人、ランド職員インボイス説明：25人、職域ゲートキーパーセミナー：2人、子ども虐待防止フォーラム：2人、労働衛生対策等研修会：2人、全社協管理職員研修：2人、ワークライフバランスセミナー：1人、全社協中堅職員研修：3人、新人職員研修：2人、中堅職員研修：1人、全社協セミナー：8人、インボイス研修：4人、アンガーマネジメント研修：5人）

④ 会員の拡大

新施設等から会員加入があった。（新規加入8施設、法人）

8 会務の運営

(1) 理事会の開催 [総務部]

<第1回> 開催日：6月12日

議案：岩手県社会福祉協議会会員の退会について

令和4年度事業報告について

令和4年度一般会計及び生活福祉資金会計の収支決算について

諸規定の制定及び改正について

理事及び監事候補者の推薦について

評議員会の招集について

<第2回> 開催日：6月27日

議案：会長、副会長及び専務理事の選定について

会計監査人の報酬について

- <第3回> 開催日：9月19日（決議の省略）
議案：評議員候補者の推薦について（補充選任）
評議員選任・解任委員会の開催について
理事候補者の推薦について（補充選任）
評議員会の開催について
提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされる日について
- <第4回> 開催日：10月10日
議案：副会長の選定について
- <第5回> 開催日：12月14日
議案：岩手県社会福祉協議会会員の退会について
令和5年度一般会計及び生活福祉資金会計の収支補正予算について
岩手県社会福祉協議会活動計画(2024～2028)の素案について
定款の変更及び諸規程の改正について
評議員会の招集について
- <第6回> 開催日：3月14日
議案：岩手県社会福祉協議会会員の退会について
令和5年度一般会計及び生活福祉資金会計の収支補正予算について
岩手県社会福祉協議会活動計画(2024～2028)について
令和6年度事業計画について
令和6年度一般会計及び生活福祉資金会計の収支予算について
理事候補者の推薦について
評議員会の招集について

(2) 評議員会の開催 [総務部]

- <第1回> 開催日：6月27日
議案：令和4年度事業報告について
令和4年度一般会計及び生活福祉資金会計の収支決算について
理事及び監事の選任について
- <第2回> 開催日：9月29日（決議の省略）
議案：理事の選任について（補充選任）
提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなされる日について
- <第3回> 開催日：12月22日
議案：令和5年度一般会計及び生活福祉資金会計の収支補正予算について
岩手県社会福祉協議会活動計画(2024～2028)の素案について
定款の変更及び諸規程の改正について
- <第4回> 開催日：3月26日
議案：令和5年度一般会計及び生活福祉資金会計の収支補正予算について
岩手県社会福祉協議会活動計画(2024～2028)について
令和6年度事業計画について
令和6年度一般会計及び生活福祉資金会計の収支予算について
理事の選任について

(3) 監事等による監査の実施 [総務部]

① 監事監査及び出納調査

- <第1回> 実施日：6月1日
内 容：令和4年度第4四半期の出納調査及び決算監査
各会計における資金の管理運用の状況
令和4年度事業について
令和4年度収支決算について
- <第2回> 実施日：9月22日
内 容：第1四半期の出納調査
各会計における資金の管理運用の状況
- <第3回> 実施日：11月9日
内 容：第2四半期の出納調査
各会計における資金の管理運用の状況
- <第4回> 実施日：2月29日、3月5日
内 容：第3四半期の出納調査
各会計における資金の管理運用の状況

② 会計監査人による監査

<決算監査> 実施日：5月22～24日

<期中監査> 実施日：8月2日、3日、10月23日、24日、2月26日、27日、3月18日、19日

③ 内部監査

内部牽制体制を強化することを目的に、本会経理規程第72条に基づき、内部監査人4人を選任し内部監査を実施

監査項目： ・小口現金、寄付金の状況 ・資産管理の状況 ・伝票と証拠書類の照合
・通帳と伝票の照合（残高証明との照合含む） ・契約に関する書類確認
・その他、適宜監査の必要があるもの

実施日：5月25日、9月14日、11月6日、2月21日

9 岩手県社会福祉大会

岩手県社会福祉大会の開催 [地域福祉企画部・総務部]

期日、会場、参加者：11月16日、トーサイクラシックホール岩手大ホール、約1,500人

被表彰者数：485人、16団体、1組

岩手県知事表彰（35人、2団体）

岩手県知事感謝状（6人）

岩手県社会福祉大会長表彰（286人、14団体、1組）

岩手県社会福祉大会長褒賞（43人）

岩手県民生児童委員協議会会長表彰（115人）

記念講演「すべての人が誇りを持って生きられる社会に！」

講師 社会福祉法人プロップ・ステーション 理事長 竹中 ナミ 氏